

構造図版 adpack-NEO i 2023

Ver.8.0

インストールガイド
＜ネットワーク版＞



インストールガイド（ネットワーク版）

<構造図版 adpack-NEO i 2023 Ver.8.0>

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りや記載漏れなどお気付きの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店へご連絡ください。
- (4)運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5)乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- (6)Microsoft、Windows は 米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
IJCADは、インテリジャパン(株)の登録商標です。
adpack-NEO i は(株)アークデータ研究所の商標です。
その他記載のブランド名、会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

目 次

インストールガイド（ネットワーク版） ＜構造図版 adpack-NEO i 2023＞

Section1	はじめに	1-1
	パッケージ構成	1-1
	最新の情報	1-2
	製品のマニュアル	1-2
Section2	取扱い上の注意	2-1
	ネットワークロックの取扱い	2-1
	インストールCD-ROMの取扱い	2-1
	最新版のシステム	2-1
	ユーザ登録	2-2
	技術サポートサービス(有料)	2-2
	スタートアップサポートサービス(無料)	2-2
Section3	使用環境の特徴	3-1
	動作環境	3-1
Section4	ネットワーク環境でのライセンス管理	4-1
	ネットワークロック(NWL)	4-1
	ネットワークロック(NWL)の検索順序	4-2
	最大管理ライセンス数の確認	4-2
	セキュリティサーバー	4-2
	adpack-NEO i のライセンスサーバー	4-3
	adpack-NEO i のセキュリティサーバープログラムの種類とバージョン	4-3
	ライセンスサーバーを認識できる範囲(技術的説明)	4-3
	adpack-NEO i 製品での具体的なデータ量とタイミング	4-4
	企業内イントラネット環境での運用	4-5
	adpack-NEO i の複数起動について	4-7
	オーソライゼーションコードについて	4-7
	ライセンス数を超えるシステムの起動	4-7

製品版のシステムについて	4-8
体験版のシステムについて	4-8
オーソライゼーションコード申請時の注意	4-8
4-1 オーソライゼーションコードの申請	4-9
オーソライゼーションコード申請手順	4-9
オーソライゼーションコード申請先	4-11
4-2 オーソライゼーションコードの登録	4-13
オーソライゼーションコード登録手順	4-13
Section5 インストールについて	5-1
インストールを実行する前に	5-1
製品プロテクトについて	5-1
インストールの順序	5-2
5-1 adpack-NEO i のインストール	5-3
5-2 セキュリティサーバー(プログラム)	5-9
セキュリティサーバーの種類・概要	5-9
ライセンス管理用のPCを変更するには	5-9
5-2-1 セキュリティサーバーのインストール	5-11
セキュリティサーバーのインストール	5-11
セキュリティサーバーのインストール位置	5-14
セキュリティサーバーのロードと開始	5-14
NTサービス版サーバーの停止とアンロード	5-16
5-2-2 ログファイルの設定	5-17
ログファイルの作成位置	5-17
ログファイルの設定変更	5-17
5-3 ライセンス更新ユーティリティのインストール	5-19
インストール	5-19
インストール後	5-23
インストール位置	5-23

Section6 本システムの起動及びライセンス確認から終了まで	6-1
起動後の画面構成	6-1
6-1 起動及びライセンス確認から図面の作図開始まで	6-2
本システムをこれから起動する場合	6-2
adpack-NEO i のライセンス確認の結果の違い	6-3
既に起動した状態から新規図面を作成する場合	6-5
6-2 システムの終了	6-6
Section7 アンインストールについて	7-1
アンインストールを実行する前に	7-1
7-1 adpack-NEO i のアンインストール	7-2
7-2 セキュリティサーバーのアンインストール	7-4
7-3 ライセンス更新ユーティリティのアンインストール	7-5

Section 1 はじめに

コンピュータに本製品をインストールする前に、まずパッケージの内容物に不足がないかを確認してください。製品の品質管理には万全を期しておりますが、万一不足・不良品等がございましたら、お手数ですが弊社またはお買い求めの販売店までご連絡ください。

このインストールガイドでの操作は、Windows 10での操作を基に記載しています。

パッケージ構成

構造図版 adpack-NEO i ネットワーク版には、『サーバーパック』と『サーバーライセンス1』の2種類があります。パッケージ構成は以下の通りです。

『サーバーパック』製品

- 構造図版 adpack-NEO i 2023 Ver. 8.0 インストール用CD-ROM：1枚
- 構造図版 adpack-NEO i 2023 Ver. 8.0 ネットワークライセンス管理用ハードウェアロック（ネットワークロック）USB：1個
- 構造図版 adpack-NEO i 2023 Ver. 8.0 インストールガイド：1冊（本書）
- ソフトウェア製品使用許諾契約同意書 兼 オーソライゼーションコード申請書：1枚
- その他、色々なご案内

『サーバーライセンス1』製品

- ソフトウェア製品使用許諾契約同意書 兼 オーソライゼーションコード申請書：1枚
- その他、色々なご案内



『サーバーライセンス1』のライセンス数は1です。

『サーバーライセンス1』には、「ネットワークライセンス管理用ハードウェアロック」、「インストールガイド」および「構造図版 adpack-NEO i インストール用CD-ROM」は同梱されません。

『サーバーパック』の製品に同梱されているものを使用します。



『サーバーパック』製品に同梱されているハードウェアロック（ネットワークロック）

◆USBポート用：

（※使用可能なOSに制限があります。詳しくは、「Section3 使用環境の特徴」を参照）

また、出荷時使用可能ライセンス数は 0 なので、運用する前にライセンスの追加（更新）手続きが必要です。（詳説→「Section4. ネットワーク環境でのライセンス管理」）

最新の情報



上記「インストールガイド」、オンラインヘルプ等に記載されていない最新の情報が以下の方法で参照できます。必ず一度はお読みください。

- ①. 構造図版 adpack-NEO i のCD-ROM内の「Readme_NEOiS08.txt」ファイルの内容。
- ②. 製品リリース後の最新情報に関しては、弊社Webサイト上で随時お知らせします。
<https://archdata.co.jp/>

製品のマニュアル

本製品の操作方法等のドキュメントは、全てオンラインドキュメント(ヘルプ)になります。以下の手順で、参照して下さい。

- ◆【スタート】メニューから[adpack-NEO i Ver.8.0 構造図版]内の必要なドキュメントのショートカットを実行して下さい。オンラインヘルプが表示されます。また、製品を起動後、専用メニューから実行することもできます。

「基本ヘルプ」

「構造図ヘルプ」

本システムについて（注意事項）



本システムは、IJCADをプラットフォームとして開発している関係で、IJCAD自体のカスタマイズ機能も含まれています。しかし、本システム上でユーザがカスタマイズした機能の動作は保証しておりません。ユーザ側のカスタマイズの内容によっては、本システムの機能が正常に動作しない可能性があります。また、本システム上で、ユーザ側でのカスタマイズに関しては、一切サポートは行えませんのでご了承ください。もし、カスタマイズを行う場合は、ユーザ様の責任の上で行ってください。

Section 2 取扱い上の注意

ネットワークロックの取扱い

ネットワークロック(ネットワークライセンス管理用ハードウェアロック)の取扱い上の注意点について説明します。

- ◇ネットワークロックは、損傷を受け易い物なので、取扱いには充分な注意が必要です。
- ◇ネットワークロックを紛失された場合でも無償提供はできませんのでご注意ください。
- ◇ご購入直後、ネットワークロックが壊れていた場合(初期不良の場合)は無償交換いたします。
- ◇ご使用中に発生した損傷については有償交換とさせていただきます。
- ◇その他、詳しい内容についてはご購入先の代理店または下記FAX番号までご連絡ください。

●サービス時間 : 月～金曜日(弊社休業日を除く) 10:00～12:00, 13:00～16:00

●FAX番号: 03-5901-9451

※代理店経由でご購入いただいたお客様は、ご面倒でも代理店経由でご連絡いただくようにお願いします。

メモ



本製品は、ネットワークロックに設定されているライセンスを超えるユーザが、adpack-NEO i のシステムを起動しようとした場合、ライセンスが無くても最初のインストール後約30日間は「評価用」として動作します。システムが「評価用」で起動してもadpack-NEO i の機能は制限されません。全てのコマンドが使用できます。もし、製品購入後、初期不良でネットワークロックが正常に認識されない場合は、早急に交換等の手続きを行ってください。

(ネットワークロックによるライセンス管理については「Section 4 ネットワーク環境でのライセンス管理」を参照してください)

また、2台以上のパソコンにadpack-NEO i をインストールした場合、試用期間内であれば評価目的で使用することができます。この場合、最初のインストール後約30日間経過すると動作しなくなります。試用期間終了後も継続して使用したい場合は、追加で通常製品を購入してください。

インストールCD-ROMの取扱い

注意



インストール用のCD-ROMは、損傷しやすいものですので傷等がつかないように大切に扱ってください。CD-ROM表面の製品名が印字されている部分は、水に濡れた手で触らないようにしてください。印字されている部分がかすれてくる場合があります。

最新版のシステム

本製品は、ユーザに最新のシステムをご提供するため常にアップデートされています。

また、アップデートするための最新モジュールはWeb上で公開し、ユーザであれば無償でダウンロードが可能です。定期的にホームページを参照していただき、本システムを常に最新の状態でご使用になることをお奨めします。

ホームページアドレス: <https://archdata.co.jp/>

ユーザ登録

ユーザ登録についてご案内致します。

本製品を継続してご使用いただくためには、**オーソライゼーションコード**を登録する必要があります。オーソライゼーションコードを申請するための用紙は「ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書」となっており、今後予想されるサービスやご連絡は、この「ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書」を送付していただいたユーザ様が対象となります。

製品パッケージ内に同梱されている本契約事項等をよくお読みいただき、同意書に記入・捺印の上お早めに送付してください。かかる同意書受領を条件として、本製品につきソフトウェア製品使用許諾契約書の内容に従って各種サービスを提供させていただきます。

◇「ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書」の送付先◇

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-37-14

(株)アークデータ研究所 CADソリューション部 adpackオーソライゼーションコード発行係 宛

FAX番号:03-5901-9451

技術サポートサービス(有料)

製品パッケージに同梱されている「adpackサポート・サービスのご案内」を参照の上、弊社サポートサービスへご加入ください。

また、弊社認定のサポート会社が行っているサポートサービスもあります。

サポートサービスの詳しい内容につきましては、各サポート会社で確認してください。会社ごとにサポート内容及びサポート費用が異なります。

詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス: <https://archdata.co.jp/>

スタートアップサポートサービス(無料)

本製品購入後30日間に限り、本製品のインストールに関するサポートを無償で行います。この場合、質問内容(ご使用の製品名、シリアル番号、OSその他環境、具体的な現象等)をなるべく詳しく記述し、以下のFAX番号 または Eメールアドレスまで送信してください。電話でのお問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。

●サービス時間: 月～金曜日(弊社休業日を除く) 10:00～12:00, 13:00～16:00

●FAX番号: 03-5901-9451

●Eメールアドレス: ad-support@archdata.co.jp

※代理店経由でご購入いただいたお客様は、ご面倒でも代理店経由でご質問をお寄せください。

注意



本窓口では、商品の操作方法、設定方法等の技術的なお問い合わせはお受けできません。技術的なお問い合わせは「技術サポートサービス(有料)」をご利用ください。

Section 3 使用環境の特徴



本製品の仕様は予告無く変更される場合がありますので、ご了承ください。
最新情報は、弊社Webサイトでお知らせします。

<https://archdata.co.jp/>

動作環境

本システムの動作環境は以下の通りです。

■ソフトウェア（各日本語版）

IJCAD 2023 PRO／STD

※以下、上記IJCAD製品を総称して、IJCADとして説明します。

■オペレーティングシステム（各日本語版）

Windows 11 64ビット版

Windows 10 64ビット版

※64ビット版のみとなります。32ビット版にはインストールできません。

※システムインストール時には管理者権限（Administrators）を持つユーザでログオンが必要です。



＜運用ユーザの権限について＞

本システムを使用するユーザは、原則として管理者権限が必要です。「制限付きアカウントのユーザ」での運用も可能ですが、この場合、本システムのインストール先フォルダに対して、管理者権限と同等のアクセス権限を与えてください。

インストール後初めて起動する際、及びオーソライゼーションコードを登録する際には管理者権限が必要です。適切な権限が設定されていないと正常に動作しませんのでご注意ください。

■ハードウェア

プロセッサ	IJCAD 2023 PRO／STD 製品の動作環境
メモリ	IJCAD 2023 PRO／STD 製品の動作環境
表示解像度	IJCAD 2023 PRO／STD 製品の動作環境
ディスク空き容量	約 250 MB（IJCADが必要とする容量は除く。）
ポインティング デバイス	Windowsに対応したマウス
その他	CD-ROMドライブ（インストールに使用）

<サーバーPC（ライセンス管理のみを行うPC）>

プロセッサ:1.4GHz(以上を推奨)

メモリ:512MB

ネットワークロックスが接続できるUSBポート必須

CD-ROMドライブ必須(インストールに使用)

※原則として、使用するオペレーティングシステムで推奨するスペック以上。

※仮想化は非サポートとなります。



上記のハードウェアスペックは、ライセンス管理を行う場合のみのスペックです。

同じサーバー機上でライセンス管理以外の用途(ファイルサーバー、プリンターサーバー、他)でも使用する場合は、それに見合ったスペックでご使用ください。

■ネットワーク環境

◇ TCP/IPプロトコルによるネットワーク環境

(ネットワーク環境が既に構築されている必要があります。)

◇ 固定IPアドレスが設定されていること(自動取得は不可)

Section 4 ネットワーク環境でのライセンス管理

adpack-NEO i は、ネットワーク上のライセンスを管理するためのネットワークライセンス管理用のハードウェアロック(ネットワークロック)と、それを制御管理するライセンス管理サーバーソフトウェア(セキュリティサーバー)を組み合わせ使用しています。

このネットワークロックには、adpack-NEO i シリーズで現在使用できる最大ライセンス数が設定されています。同一ネットワーク上で、このネットワークロックに設定されているライセンスを上限として同時にシステムを起動できるようになっています。

以下に、このネットワークライセンスについての詳しい説明、およびライセンスの追加方法について説明します。

※ネットワークライセンスのダイアログボックスは、「構造図版 adpack-NEO i Ver.1.0」のものを使用しています。

ネットワークロック (NWL)

ネットワークロックは、adpack-NEO i の『サーバーパック製品』に同梱されています。

このネットワークロックはネットワーク上で同時に使用できるライセンス数が設定されており、初期値では 0 ライセンスです。

本パッケージに同梱されているネットワークロックに対して、固有のオーソライゼーションコードを取得し、ライセンスの更新(追加)を行います。

(参照→「4-1 オーソライゼーションコードの申請」P.4-9)

(参照→「4-2 オーソライゼーションコードの登録」P.4-13)



オーソライゼーションコードの申請は1ライセンスにつき1回のみ可能です。2回目の申請はお受けできませんのであらかじめご了承ください。

1個のネットワークロックでは、最大50ライセンスまでしか管理できません。

したがって、同一ネットワーク上で使用するライセンス数が50ライセンスを超える場合、複数のネットワークロックに分けて管理する必要があります。この場合、adpack-NEO i のサーバーパックを複数購入して、それぞれのネットワークロックに分けてライセンスを追加して管理します。

このとき、複数のネットワークロックを同一のサーバー機に装着して管理することも出来ます。

ただし接続できるのは最大5個までとなります。



運用面からみると、50ライセンスを1個のネットワークロックのみで管理することは推奨できません。それは、ライセンスを管理しているサーバ機が何らかの原因でダウンした場合、サーバ機が復旧するまで全てのライセンスが使用できなくなるからです。

1個のネットワークロックで管理するライセンス数は30前後にしておくことを推奨します。

例えば、「サーバ①」で30ライセンス、「サーバ②」で30ライセンスを、それぞれ管理するように設定している場合、「サーバ①」がダウンしても少なくとも「サーバ②」が管理している30ライセンス分は使用できます。

複数のサーバでライセンス管理をする場合、ライセンス管理するサーバ機と同じ本数のサーバーパックを購入する必要があります。

ネットワークロック（NWL）の検索順序

同一サーバー機に複数のネットワークロックを接続している際の検索順序を説明します。

USBタイプのネットワークロックを2つ以上USBポートに接続した場合。

→どのネットワークロックが認識されるかは不確定です。

最大管理ライセンス数の確認

1個のネットワークロックでは、**最大50ライセンス**までしか管理できません。

したがって、同一ネットワーク上で使用するライセンス数が50ライセンスを超える場合、複数のネットワークロックに分けて管理する必要があります。

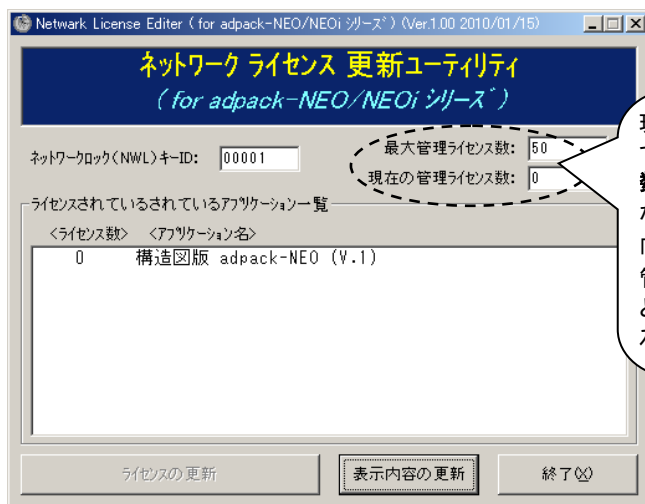
◆現在ネットワークロックで管理されている最大ライセンスは「ライセンス更新ユーティリティ」を使用することで確認ができます。

注意



「ライセンス更新ユーティリティ」では、2個以上のネットワークロックが接続されている場合、1つのネットワークロック内のライセンス数しか確認できません。

- ① ライセンス更新ユーティリティがインストールされているパソコンのUSBポートに、確認したいネットワークロックを1つだけ接続する。
- ② ライセンス更新ユーティリティを起動し、[表示内容の更新]ボタンをクリックする。



現在接続されているネットワークロックで管理できる「**最大管理ライセンス数**」と、「**現在の管理ライセンス数**」が確認できます。

「現在の管理ライセンス数」が「最大管理ライセンス数」と同じライセンス数となった場合、それ以上のライセンス管理はできません。

セキュリティサーバー

ネットワークロックに設定されているライセンスは、セキュリティサーバー（プログラム）で管理します。セキュリティサーバーが実行されると、実行されたパソコンのUSBポートに装着されているネットワークロックに設定されているライセンスを管理します。

ネットワークプロトコルとしては、TCP/IPおよびIPX/SPXをサポートします。



IJCADのネットワーク版とadpack-NEO i を使用する場合、IJCADの動作環境が優先されます。したがって、IJCADのネットワーク版がサポートしていない環境では、adpack-NEO i は動作しません。

adpack-NEO i のライセンスサーバー

adpack-NEO i ネットワーク版を使用する為には、adpack-NEO i のネットワークライセンスを管理するためのライセンス管理サーバー機を用意する必要があります。以下の手順で設定を行なうことで、ライセンスサーバーとしてライセンスを管理ようになります。

- ① セキュリティサーバープログラムをインストールする。
(詳説→「5-2-1 セキュリティサーバーのインストール」)
- ② ライセンス管理サーバー機のUSBポートにネットワークロックを装着する。

ただし、必ずしもネットワーク上のサーバー(Windows NT Server等)機をライセンスサーバー機にする必要はありません。同一ネットワークに接続されている32ビットOSが実行されているパソコンであればライセンスサーバー機として動作が可能です。(詳説→「Section3. 使用環境の特徴」)

adpack-NEO i のセキュリティサーバープログラムの種類とバージョン

「構造図版 adpack-NEO i 2023 Ver.8.0」では、ネットワークライセンス管理を実現するため、米国 SafeNet社の SentinelProtectionServer (7.7.1.0)を採用しています。

また、接続されているハードウェアロックを認識させるためのデバイスドライバー SentinelSystemDriver (SSD-7.6.1) を使用しています。



弊社製品以外にも上記と同じ種類のセキュリティサーバープログラムを使用してネットワークライセンスを管理するものがあります。
これらのライセンス管理とadpack-NEO i のライセンス管理を同一のサーバー機上で行う場合は、セキュリティサーバー、および、SystemDriverのバージョンに注意して下さい。
それぞれの製品で使用するバージョンを確認して、上記のバージョンのもの、もしくは、上記のバージョンより新しいものをご使用下さい。
古いバージョンのセキュリティサーバー、および、SystemDriver を使用すると、正常にライセンス管理が出来ない場合があります。

ライセンスサーバーを認識できる範囲（技術的説明）

ライセンスサーバーとクライアント間の通信限界について説明します。

クライアントからライセンスを取得するためには、原則として以下の4つの条件が必要です。

①. タイムアウト時間の限界

TIMEOUT 時間(約15秒)内にネットワーク上でライセンスを管理しているサーバー機と通信可能になることが必要です。(TIMEOUT時間の変更不可)

例えばルーターや無線伝送式の LAN で極端に回線速度やレスポンスが悪化する場合には、他の条件が揃っていても動作しなくなりますので注意が必要です。

②. IPX/SPX でルーターを使用している場合のSAP 設定

SuperproNet はSAP (Service Advertising Protocol)によって同期通信が確立された環境下で、データパケットID:361h Type-5 を使用しています。

ルーターやネットワークの種類によっては(セキュリティ上の制限等から)このパケットを透過させない環境があります。

ネットワークの設定はこのパケットを透過させるように行ってください。

③. TCP/IP でのアドレス設定範囲

クライアントアプリケーション(adpack-NEO i シリーズ)はTCP/IP 同報通信マスクに基づいてUDP パケットを送信します。このパケットが透過する範囲で検索可能です。

このUDP パケットの送信に使われるポートは6001 です。このポートが塞がれていないことを確認してください。

④. サーバーの指定

デフォルトの設定では、ルータの先(セグメントを越えた範囲)にあるサーバー機を検索できません。しかし、クライアント側でサーバー機のホスト名もしくはIPアドレスを指定することで、遠隔地(イントラネット内)に存在するサーバー機からライセンスを取得できるようになります。

メモ



(※)ここでの、サーバのホスト名、IPアドレスの指定は、この後で説明するネットワーク環境設定コマンドで設定します。「企業内イントラネット環境での運用」(P.4-5)を参照。

メモ



セグメントを超えない位置にサーバーが存在している場合でも、サーバーの指定をする事を推奨します。ライセンス取得時の処理時間の短縮になります。

adpack-NEO i 製品での具体的なデータ量とタイミング

adpack-NEO i 製品では、システム起動中にクライアント～サーバー間で約30秒(初期値)に1回「ライセンスチェック」を行います。また、システム起動時のライセンスの取得時、システム終了時のライセンス開放時にも通信が行われます。

その際の具体的なタイミングとデータ量を以下に示します。

◆データサイズ(ヘッダ+データ):最大3.0バイト

◆サーバーへのアクセスタイミング

- 1)システム起動時(ライセンスの取得)
- 2)新規図面作成時
- 3)既存図面OPEN時
- 4)図面編集時<30秒間隔(初期値)で「ライセンスチェック」の実行>
- 5)システム終了時(ライセンスの開放)

>>1)システム起動時

:160バイト(3.0バイト×2(上り/下り)×4回)

>> 2)新規図面作成時

: 80バイト(3.0バイト×2(上り/下り)×2回)

>> 3)既存図面OPEN時

: 80バイト(3.0バイト×2(上り/下り)×2回)

>> 4)図面編集時(60秒間隔)

: 40バイト(3.0バイト×2(上り/下り))

>>5)システム終了時(ライセンスの開放)

: 40バイト(3.0バイト×2(上り/下り))

企業内イントラネット環境での運用

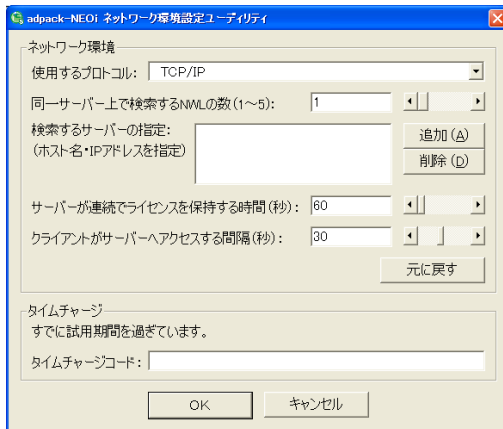
ネットワーク版での運用は、原則として「ライセンスサーバーを認識できる範囲(技術的説明)」(P.4-3)で説明している環境が構築されていなければいけません。

また、以下の設定を行うことで企業内イントラネット(ルータを越える)など広域ネットワーク内でライセンスを共有することが出来ます。



本設定を行う前に、adpack-NEO i を終了しておいてください。

- ① ネットワークライセンス環境設定ユーティリティを起動します。
スタートメニュー内、[adpack-NEO i Ver.8.0 構造図版]内、「ネットワークライセンス環境設定ユーティリティ」ショートカットを選択します。
- ② 「adpack-NEO i ネットワークライセンス環境設定ユーティリティ」ダイアログボックスが表示しますので、必要な情報を入力し[OK]をクリックします。



必要な設定

◆「使用するプロトコル」

- ・使用するプロトコル(TCP/IP or IPX/SPX or NetBEUI or SAP)を選択します。
- ・初期値は TCP/IP です。



使用するプロトコルとして「TCP/IP」以外も選択できますが、サポート対象外となります。

◆「同一サーバー上で検索するNWLの数」

- ・同一サーバーにadpack-NEO i のネットワークロックが接続されている個数を指定します。
ここで設定した数だけサーバーにネットワークロックが装着されているとしてライセンスの取得を試みます。
- ・初期値は 1 です。

◆「検索するサーバー名」

- ・adpack-NEO i のネットワークロックが装着されているサーバーのホスト名(コンピュータ名)、もしくは、IPアドレスを設定します。
- ・サーバーは複数設定でき、設定されている順にライセンスの取得を試みます。
- ・初期値は設定無しです。
- ・サーバー名を追加する場合は【追加(A)…】ボタンをクリックし、以下のダイアログ上でホスト名、もしくは、IPアドレスを指定します。



<運用例>

例えば、2台のサーバーでライセンス管理をしている時、その複数のサーバーを指定しておけば、仮に1台のサーバーがダウンしても、もう1台のサーバーからライセンスの取得を試みます。

③ 設定が完了したら adpack-NEO i を起動します。



ネットワーク環境設定コマンドで設定した内容は、adpack-NEO i インストールフォルダ内の以下のファイルに保存されます。

※以下のファイルはテキストファイルなので、直接編集する事も可能です。

<adpack-NEO i インストールフォルダ>\adpack.ini

例) C:\<ProgramData >

+--<archdata>

+--<adpack-NEO i 構造図_V7>

| adpack.ini

adpack-NEOの複数起動について

注意



adpack-NEOネットワーク版とJCADのネットワーク版の複数起動について説明します。

IJCADは同一クライアントPC上で複数のセッションを起動できますが、adpack-NEOの複数起動はサポートされていません。

オーソライゼーションコードについて

ネットワークロックに設定されているライセンス数を更新（追加）する場合、あらかじめオーソライゼーションコードを取得し、ライセンス更新ユーティリティを使用してネットワークロックに登録する必要があります。

詳しい方法については以下を参照して下さい。

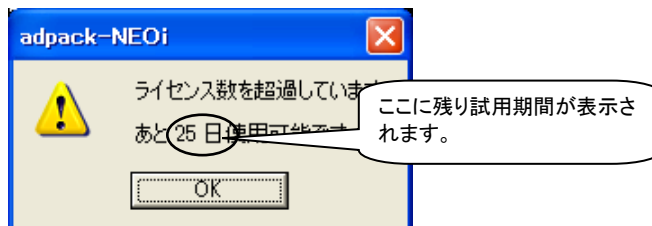
（参照→「4-1 オーソライゼーションコードの申請」P.4-9）

（参照→「4-2 オーソライゼーションコードの登録」P.4-13）

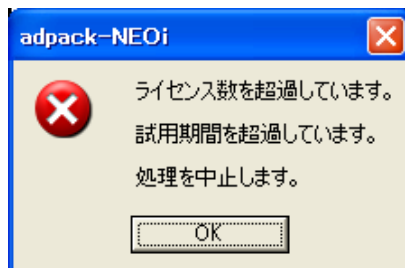
ライセンス数を超えるシステムの起動

ネットワークロックに設定されているライセンス数を超えてシステムを起動すると、システム起動時に以下のようにメッセージが表示されます。

◆試用期間がある場合



◆試用期間がない場合



製品版のシステムについて

本製品（製品版）をインストールした場合、オーソライゼーションコードを登録しなくても、30日間は動作します。この試用期間中に、オーソライゼーションコードの申請・登録を行ってください。30日間を過ぎても継続して使用出来るようになります。

体験版のシステムについて

本製品の体験版の試用期限は30日です。インストール後、初めて起動してから30日間使用する事が出来ます。この期間内は、本システムの全ての機能を使用する事が出来ます。試用期限が切れた場合でも、オーソライゼーションコードの登録はできません。

継続して評価目的で使用したい場合は、弊社 営業担当までご連絡下さい。

連絡先：

（株）アークデータ研究所 CADソリューション部

adpack 営業担当 TEL:03-5901-9452 FAX:03-5901-9451

オーソライゼーションコード申請時の注意

オーソライゼーションコードを申請するときには、[構造図版 adpack-NEO i]製品のシリアルナンバー、NWL
キーID、ライセンスキー、追加するライセンス数が必要になります。

4-1 オーソライゼーションコードの申請

adpack-NEO i のオーソライゼーションコードの申請方法の手順について説明します。

ここで説明する手順でオーソライゼーションコードの申請を行ない、取得したオーソライゼーションコードをシステムに登録することで、ネットワークライセンス数の上限が更新(増加)され、試用期間30日経過後も継続して使用できるようになります。



adpack-NEO i ネットワーク対応製品には『サーバーパック』と『サーバーライセンス1』の2種類あります。

『サーバーパック』と『サーバーライセンス1』の組み合わせで購入した場合、または、既に『サーバーパック』を持っており、『サーバーライセンス1』を追加購入した場合、「オーソライゼーションコード」の申請を行なってください。

オーソライゼーションコード申請手順

① ソフトウェア製品使用許諾契約への同意

製品パッケージに同梱されている「ソフトウェア製品使用許諾契約」をよく読んだ上で、同意してください。
本製品を使用するためには「ソフトウェア製品使用許諾契約」に同意した上で、オーソライゼーションコードを申請する必要があります。

② これから使用する本システムのシリアルナンバーの確認

『サーバーパック』製品、および『サーバーライセンス1』製品の両方のシリアル番号を確認してください。「オーソライゼーションコード発行申請書」に記述する必要があります。
(製品のパッケージ内側に貼ってあるシールに記載されています。)

③ 「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」のインストール

ネットワークロックに設定されているライセンスを更新するユーティリティをインストールします。
(参照→「Section5-3 ライセンス更新ユーティリティのインストール」)



インストール先のパソコンは、必ずしもサーバー機でなくてもかまいません。

ネットワークライセンスに追加したライセンス数を確認する場合にも「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」を使用しますので、可能であればライセンスを管理するサーバー機にインストールすることを推奨します。

しかし、セキュリティ等の関係でサーバー機にインストールすることが難しい場合は、クライアントパソコン上でも問題はありません。

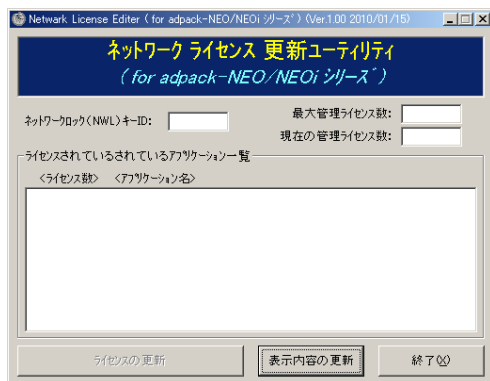
④ ネットワークロックをパソコンに装着

ライセンス更新ユーティリティをインストールしたパソコンのUSBポートに、ネットワークロックを装着します。

この時、他のアプリケーションのハードウェアロック等が装着されていた場合、全て外してadpack-NEO i のネットワークロック1個のみにしてください。

⑤「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」の起動

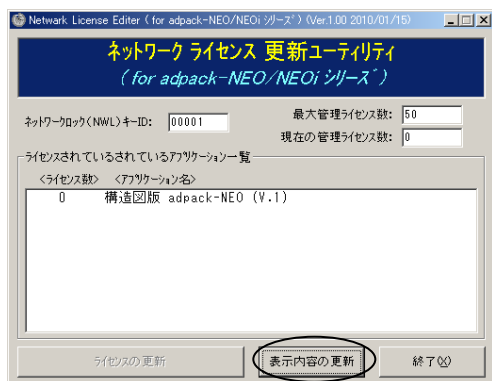
[スタート]メニュー内の[adpackシリーズ(ネットワークライセンス管理)]内の「adpack-NEO-NEO i シリーズ ライセンス更新ユーティリティ」を選択して「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」を起動します。



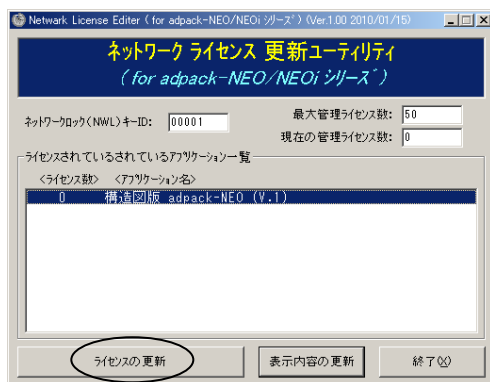
⑥ライセンスキーの取得

◇ダイアログ内の【表示内容の更新】をクリックすると、USBポートに装着されているネットワークロックにアクセスします。

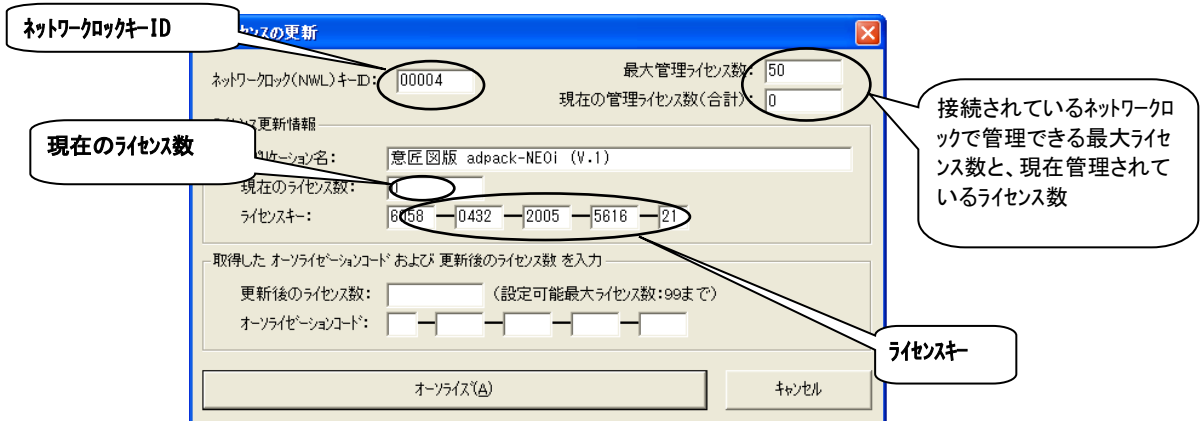
その後、このネットワークロックで管理されているアプリケーション名の一覧と個々のライセンス数が表示されます。



◇ライセンスを更新(追加)するアプリケーションを選択し【ライセンスの更新】ボタンをクリックします。



◇すると、以下のダイアログが表示されます。



上記ダイアログ内の「ネットワークロック (NWL) キーID」、「現在のライセンス数」および「ライセンスキー」を確認し、パッケージに同梱されている「ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書」に間違えないように記述してください。

⑦ ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書の送付

「ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書」に必要事項を記入、捺印の上、FAXまたは郵便にて、弊社まで送付してください。

折り返し、FAXまたは郵便でオーソライゼーションコードをお知らせします。



Eメールでの申請は受け付けていません。必ずFAXまたは郵便で送付してください。



「オーソライゼーションコードの申請書」は「ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書」となっており、ソフトウェア製品使用許諾契約に同意していただく必要があります。



上記ダイアログ内で表示されている「最大管理ライセンス数」以上のライセンス数は管理できません。また、オーソライゼーションコードを申請しても無効になります。この場合、「最大管理ライセンス数」を超えないようにサーバーパック製品を購入し、ライセンスサーバーを増やしてください。

オーソライゼーションコード申請先

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里2-37-14

(株)アークデータ研究所

CADソリューション部 adpackシリーズ オーソライゼーションコード発行係 宛

●発行時間 : 月～金曜日(弊社休業日を除く) 10:00～12:00, 13:00～16:00

●FAX番号 : 03-5901-9451

注意



オーソライゼーションコード申請時に必要な「ネットワークロックキーID」は、接続されているネットワークロックの**固有の設定値**です。また、「ライセンスキー」は、接続されているネットワークロックとライセンス更新ユーティリティをインストールしているパソコンの組み合わせによる**固有の設定値**になります。

したがって、取得したオーソライゼーションコードは、ライセンスキーを取得した時と同じネットワークロックとライセンス更新ユーティリティを使用して、ライセンスの更新を行なってください。

くれぐれも、取得したオーソライゼーションコードを、申請時にライセンスキーを取得したパソコン以外のパソコンで動作しているライセンス更新ユーティリティ上で、ライセンスの更新を行なわないようにしてください。この場合、オーソライゼーションコードが不正と判断されて、ライセンスの更新が出来なくなります。

メモ



<オーソライゼーションコードの発行の目安>

午前中に申請書を受け付けた場合は、原則として当日中に発行します。

午後以降に申請書を受け付けた場合は、原則として翌営業日までに発行します。

※申請の混み具合その他の理由で、上記よりも遅れる場合がありますのでご了承ください。

4-2 オーソライゼーションコードの登録

本システムのオーソライゼーションコード(Aコード)の登録の手順について説明します。

オーソライゼーションコードの登録が正常に行われると、ネットワークロックで管理されるライセンスが更新(追加)され、試用期間30日経過後も継続して使用できるようになります。

オーソライゼーションコード登録手順

① オーソライゼーションコードの確認

弊社から返信した「ソフトウェア製品使用許諾契約同意書兼オーソライゼーションコード発行申請書」に記載されたオーソライゼーションコードを確認してください。

② ネットワークロックをパソコンに装着

申請時にライセンスキーを取得したパソコンのUSBポートにネットワークロックを装着します。

このとき、他のアプリケーションのハードウェアロック等が装着されていた場合、全て外してadpack-NEO i のネットワークロック1個のみにしてください。

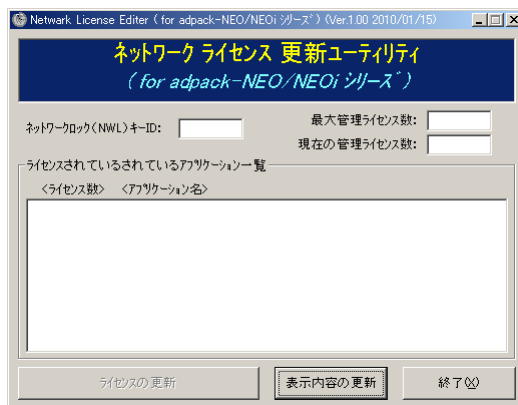
注意



オーソライゼーションコード申請時に使用したパソコンに装着してください。パソコンが変わると、オーソライゼーションコードが不正と判断され、ライセンスの更新ができなくなります。

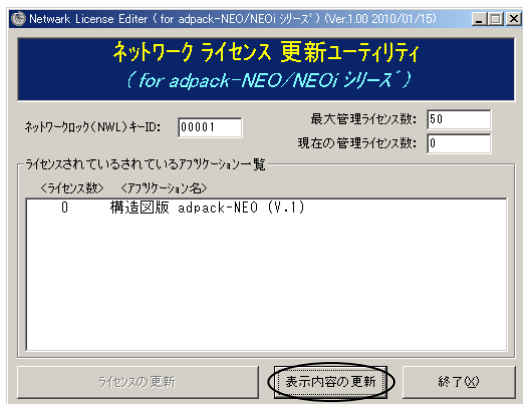
③ 「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」の起動

[スタート]メニュー内の[adpackシリーズ(ネットワークライセンス管理)]内の「adpack-NEO-NEO i シリーズ」ライセンス更新ユーティリティ」を選択して起動します。

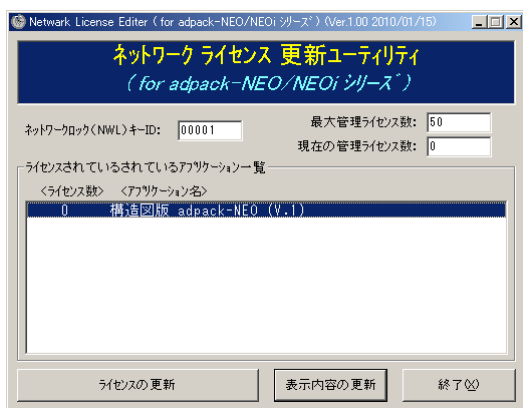


④ オートライゼーションコードの登録

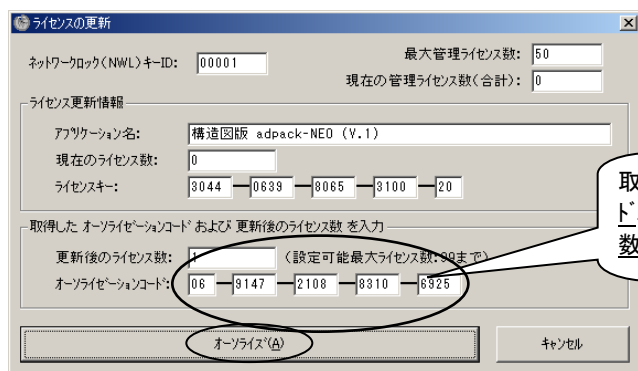
- ◆ダイアログ内の【表示内容の更新】をクリックすると、パソコンに装着されているネットワークロックで管理されているアプリケーション名と個々のライセンス数が表示されます。



- ◆ライセンスを更新(追加)するアプリケーションを選択し【ライセンスの更新】をクリックします。



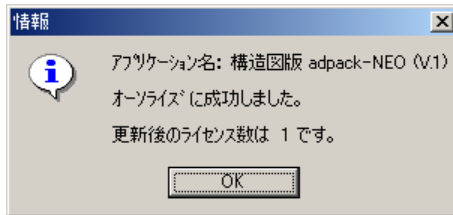
すると、以下のダイアログが表示されます。



- ◆上記ダイアログ内の「取得したオートライゼーションコードおよび更新後のライセンス数を入力」内の各項目に、取得したオートライゼーションコード、および、そのオートライゼーションコードで更新されるライセンス数を入力します。
- ◆入力したら【オートライズ(A)】をクリックします。

⑤ オーソライゼーションコードの確認

正確にオーソライゼーションコードが入力され、ライセンス数の更新が正常に行なわれると、以下のメッセージが表示されます。



この場合、ネットワークロックで管理されるアプリケーションの最大ライセンス数が更新され、更新されたライセンス数を上限としてアプリケーションが動作するようになります。

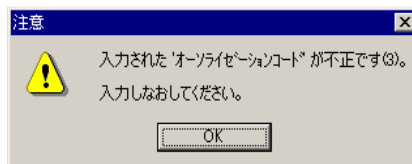
続いて、以下のメッセージが表示されます。



続いて、以下のメッセージが表示されます。



入力したオーソライゼーションコードが不正な場合、以下のメッセージが表示されます。

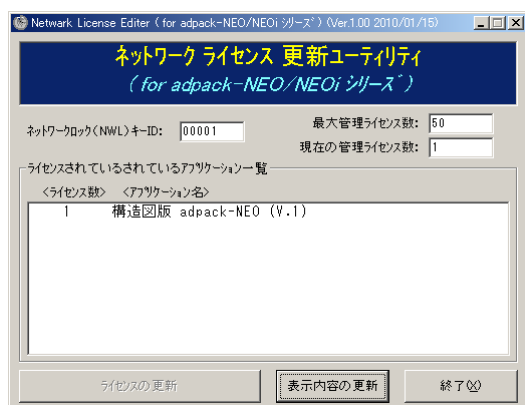


この場合、入力したオーソライゼーションコードが間違っている可能性があります。再度確認して正しいオーソライゼーションコードを入力してください。

または、ライセンスキーを取得したパソコン以外のパソコンでライセンス更新ユーティリティ使用し、登録をしている可能性があります。確認後、適切なパソコンでオーソライゼーションコードを登録してください。

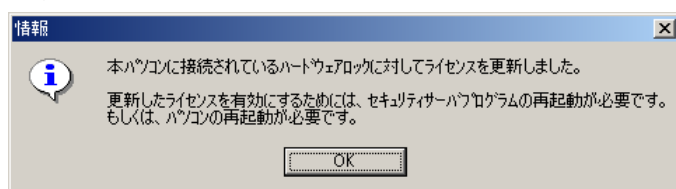
⑥ オートライゼーションコードの登録の完了

◆[終了]をクリックして終了します。



⑦ ライセンス更新後の確認

◆正常にライセンスが更新後終了すると、以下の確認メッセージが表示されます。内容を確認してください。



通常は、ライセンスを更新した後しばらく(数分)すると、ライセンスサーバー上で動作しているセキュリティサーバプログラムが、更新したライセンスを自動的に認識してライセンスを使用することが出来るようになります。

もし、しばらくたっても更新したライセンスを認識しない場合は、サーバーを再起動してください。

Section5 インストールについて

本システムには専用のインストールプログラム(SETUP.EXE)が用意されており、Windows上で簡単にインストールがおこなえるようになっています。

インストールCD-ROMの内容をそのままコピーしても、正常なインストールはできませんので、必ずこの専用プログラムを用いて、適切なインストール作業を行うようにして下さい。

インストールを実行する前に

インストール作業を実行する前に、必ず以下の事項についてご確認ください。

1. 使用するOSがセットアップされ、正常に動作している。
※ログオンユーザが管理者権限を持っているか確認してください。
2. インストール先のパソコンは、本製品の使用環境に準拠している。
(参照→「Section3 使用環境の特徴」)
3. 使用するIJCADのセットアップ作業が終了していて、起動すると正常に動作する。
(参照→「Section3 使用環境の特徴」)
4. 本製品をインストールするハードディスクのドライブに、必要な空き容量が確保されている。
5. 本製品のインストール先のドライブとフォルダ名。
6. 本製品をインストールするフォルダに対して適切なアクセス権限が設定されている。
(参照→「Section3 使用環境の特徴」)
7. インストール実行中は、インストールに必要なアプリケーション以外は全て終了しておく。



特に、ウイルスチェックプログラムなどの監視ソフトウェアは、必ず終了もしくは無効にしてください。実行している状態のままだとインストールに失敗する可能性があります。

製品プロテクトについて

adpack-NEO i シリーズのネットワーク版は、ネットワーク上のフローティングライセンスをサポートしています。

これは、同一ネットワーク内に接続されている全てのクライアント(※1)から、ネットワークライセンス用ハードウェアロック(ネットワークロック)に設定されているライセンス数を上限として同時にadpack-NEO i を使用することができるライセンスのことをいいます。



(※1): adpack-NEO i を起動するクライアントパソコンには、予めadpack-NEO i のシステムをインストールしておく必要があります。

(※2): ネットワークロックが接続されていない時のライセンスチェックには、レスポンスが帰ってくるまでに2～3分かかる場合があります。(ネットワークの環境によって異なります。)

インストールの順序

インストールは、以下の順に行ってください。

◆クライアント側◆

① adpack-NEO i システムのインストール

詳説→「Section 5 5-1 adpack-NEO i のインストール」

② ネットワークライセンス環境設定（※必要に応じて）

詳説→「Section 4 ネットワーク環境でのライセンス管理」内「企業内イントラネット環境での運用」
(P.4-5)

◆サーバー側◆

① ネットワークライセンス更新ユーティリティのインストール（※必要のある場合）

ネットワークロックにライセンスを追加する為のユーティリティをインストールします。

詳説→「Section 5 5-3 ライセンス更新ユーティリティのインストール」 (P.5-21)

② セキュリティーサーバープログラムのインストール

ネットワークライセンスを管理するためのプログラムを、ネットワークライセンス管理用の（ネットワークロックを装着している）パソコンにインストールします。

詳説→「Section 5 5-2-1 セキュリティーサーバ（プログラム）のインストール」 (P.5-13)

③ ネットワークロックの装着

ネットワークロックを、ネットワークライセンス管理用サーバ機に装着してください。

④ ネットワークライセンス追加の為のオーソライゼーションコードの申請、登録

使用するネットワークロックにライセンスを追加する為、オーソライゼーションコードの申請、登録を行います。

参照→「4-1 オーソライゼーションコードの申請」(P.4-9)

参照→「4-2 オーソライゼーションコードの登録」(P.4-13)

注意



①および②をインストールする前に、ネットワークロックをパソコンに接続しないで下さい。必ず、①および②をインストールした後に接続してください。

5-1 adpack-NEO i のインストール

それではインストールを始めます。本製品のインストールCD-ROMをお手元にご用意下さい。

① インストールCD-ROMのセット

◆構造図版 adpack-NEO i のインストールCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。



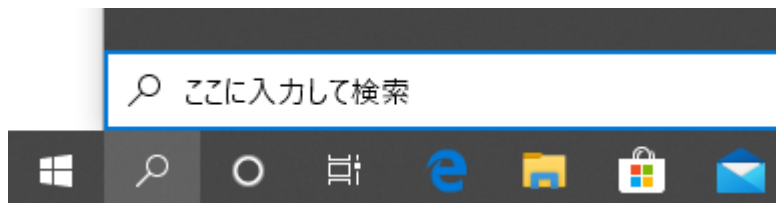
インストーラは、オートラン(自動実行機能)に対応しております。したがって、CD-ROMドライブに本システムのCD-ROMを挿入すると自動的にSETUP.EXEが起動します。この場合、「③セットアップの確認」から操作してください。

オートランを使用したくない場合は「Shift」キーを押しながらCD-ROMドライブにシステムのCD-ROMを挿入してください。オートランを使用しなかった場合、または何らかの原因で、オートランが作動しなかった場合、次の「②SETUP.EXEの実行」から作業を進めてください。

② SETUP.EXEの実行

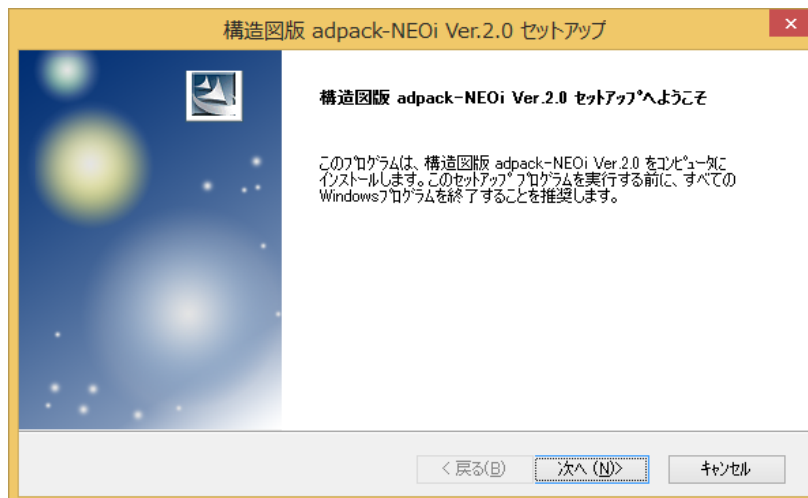
◆タスクバー上の[検索ボックス]に「E:\setup.exe」と入力し[Enter]とします。

※ E: ドライブは、本システムのCD-ROMが挿入されているCD-ROMドライブです。実際の環境に合わせて変更してください。



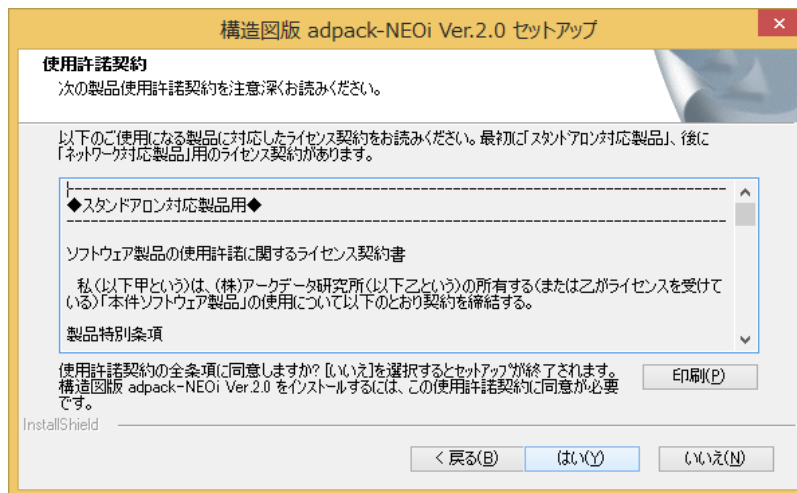
③ セットアップの確認

◆他のアプリケーションソフトが起動していないことを確認して、「次へ(N)>」をクリックします。



④ 製品ライセンス契約の確認

- ◆ ライセンス契約に関する説明のウィンドウが開きますので、内容をご確認の上、同意いただいた場合は、[はい(Y)] をクリックします。同意していただけないのであれば [いいえ(N)] をクリックしてセットアップを終了します。

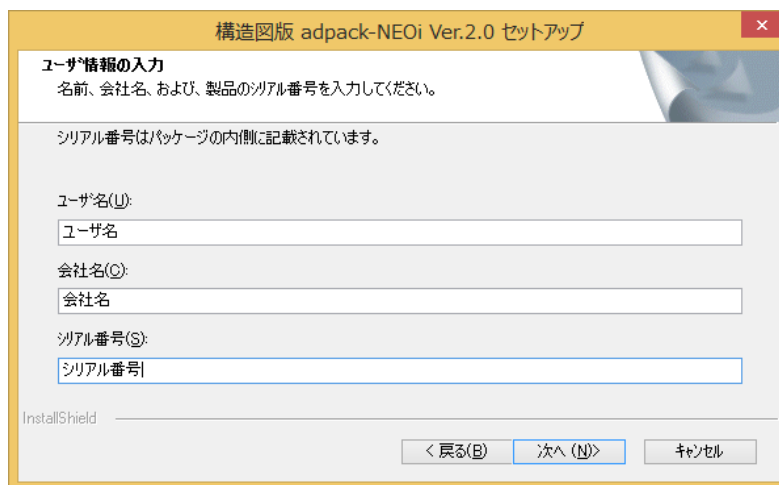


⑤ ユーザー情報の登録

- ◆ シリアル番号及びユーザー情報の登録を行います。

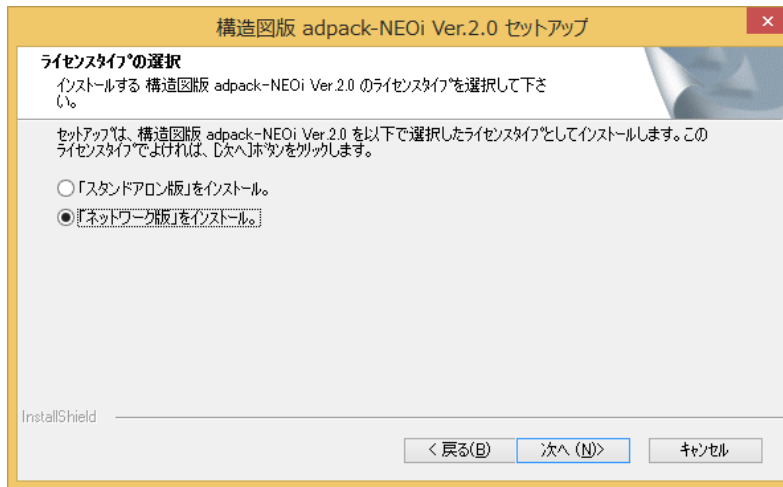
特にシリアル番号は必ず正確に入力してください。シリアル番号の入力を間違えますとインストールできませんのでご注意ください。(シリアル番号はパッケージ内側に貼ってあるシールに記載されています。)

入力が終わったら、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。



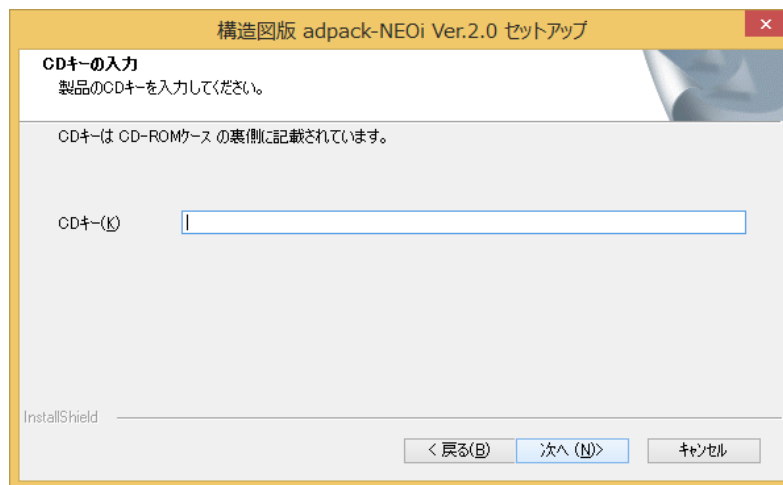
⑥ 製品のライセンスタイプを選択

- ◆インストールする製品のライセンスタイプを選択します。ここでは、「ネットワーク版」をインストール。」を選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックします。

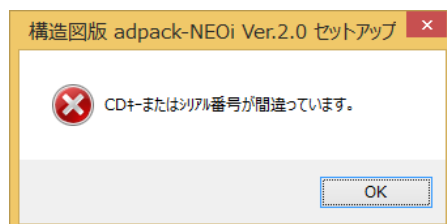


⑦ CDキーの入力

- ◆製品のCDキーを正確に入力し、[次へ(N)]ボタンをクリックします。
CDキーの入力を間違えますとインストールできませんのでご注意ください。
(CDキーはパッケージ内側に貼ってあるシールに記載されています。)

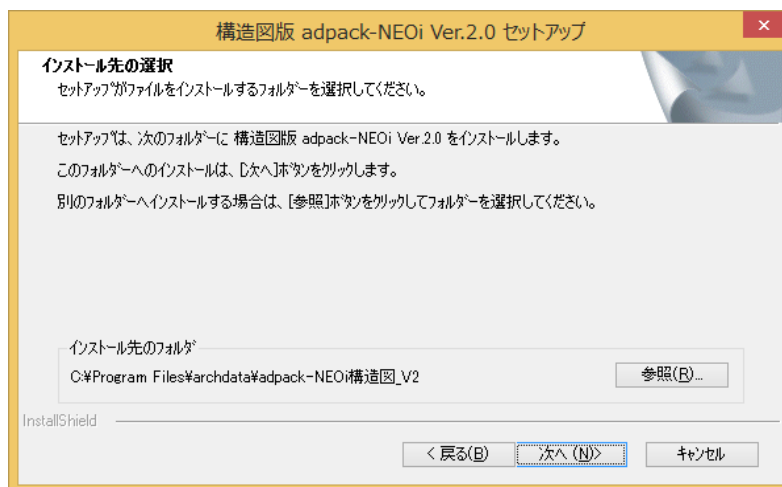


CDキーまたはシリアル番号の入力を間違えますと、下記のダイアログが表示します。



⑧ インストール先の選択

- ◆インストール先を指示するためのウインドウが開きますので、インストールするドライブ・フォルダを選択します。入力が終了したら、画面の[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

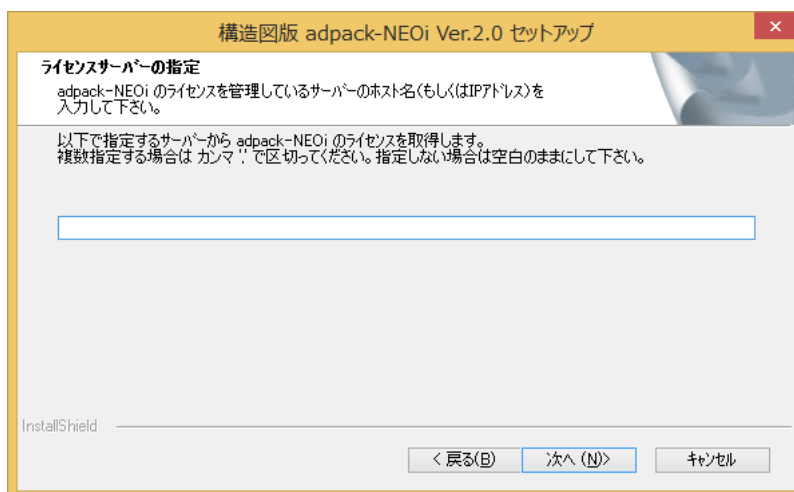


注意

インストール先のフォルダは任意に指定できます。しかし、なるべくデフォルトの状態インストールすることをお奨めします。あまり深い階層のフォルダにインストールしないようにしてください。インストール先のパスが長くなると、Windowsの制限とadpack-NEO i の仕様によりシステムが正常に動作しなくなる可能性があります。

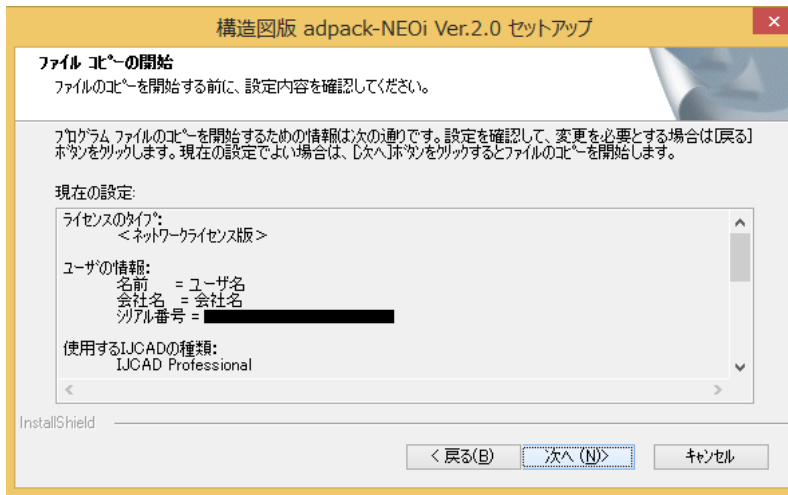
⑨ サーバー名の指定

- ◆adpack-NEO i のライセンスを管理しているサーバー(ホスト名もしくはIPアドレス)を指定します。後で指定する場合は、空白のままにしておきます。指定が終わったら[次へ(N)>]ボタンをクリックします。
 - ◆サーバーは複数指定可能です。複数指定する場合カンマ(,)で区切ってください。
- 例) SERVER1, SERVER2, SERVER3

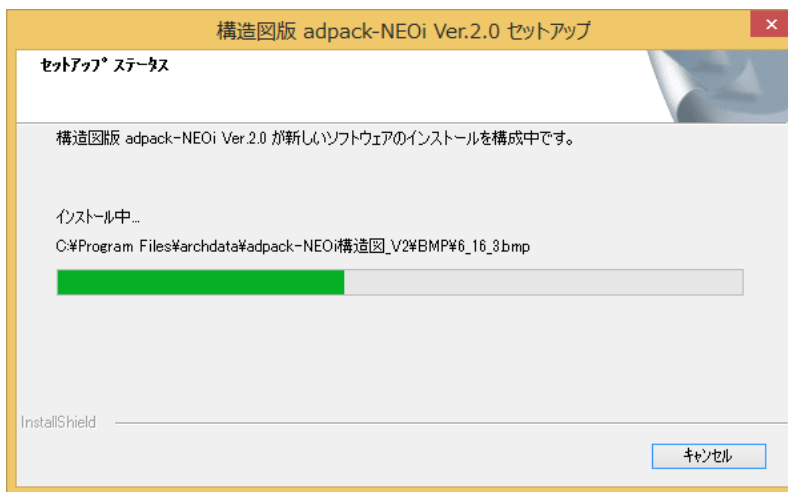


⑩ ファイルコピーの開始

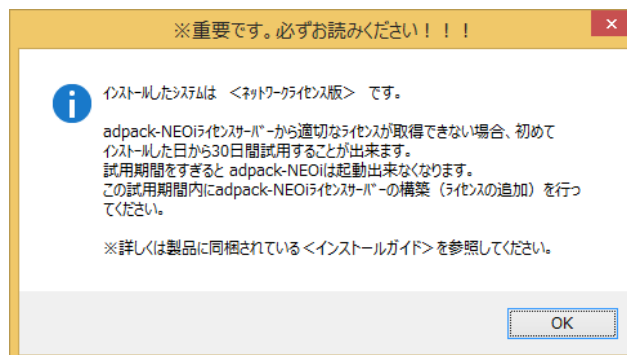
- ◆ インストール時の条件を確認後 [次へ(N)] ボタンをクリックします。



- ◆ 関連ファイルがハードディスクにコピーされます。



- ◆ ファイルコピー終了後、以下のメッセージが表示されますので、内容を確認して[OK]をクリックして下さい。



⑪ セットアップの完了

◆ファイルコピー終了後、以下のメッセージが表示されます。[完了]をクリックしセットアップを終了します。

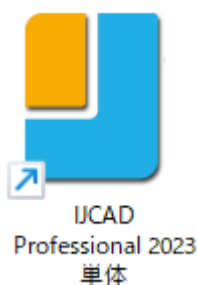
この時、同時に Read Me ファイル(補足情報ファイル)を確認することができます。



Read Me ファイル(補足情報ファイル)は必ず一度はお読みください。本インストールガイドには無い最新の情報が記述されています。



インストールが正常に終了すると、下記のような起動用のショートカットが作成されます。



プログラムグループ内の「IJCAD 単体」のショートカットは、IJCADを標準のプロファイル《初期設定プロファイル》を使用して起動します。

adpack-NEO i を使用した直後、IJCADのインストール時に作成された[IJCAD 起動用のショートカット]からIJCADを起動した場合、adpack-NEO i が起動してしまう場合があります。この場合、上記の「IJCAD 単体」のショートカットからIJCADを起動して下さい。

5-2 セキュリティサーバー（プログラム）

ここでは、ネットワーク版 adpack-NEO i の『セキュリティサーバー（プログラム）』のインストールについて説明します。

◆『セキュリティサーバー（プログラム）』は、ネットワークロック(NWL)に設定されたライセンスをネットワーク上で管理するためのサーバーソフトウェアです。

セキュリティサーバーは、adpack-NEO i のライセンスを管理するサーバー機に対してインストールを行い、その他のクライアント機へのインストールは不要です。

セキュリティサーバーの種類・概要

OS	セキュリティサーバー の使用	ネットワークロック(NWL)の種類
		USBポート用
Windows Server 2022	◎	○
Windows Server 2019	◎	○
Windows Server 2016	◎	○
Windows Server 2012	◎	○

(◎:推奨、○:使用可)

◆特徴

◇セキュリティサーバーはOSのサービスとして動作。

◇OSが起動していればログオンしなくてもセキュリティサーバーが動作。



ライセンス管理を行うOSとしては、各OSの Server Edition を推奨します。

ライセンス管理用のPCを変更するには

adpack-NEO i のライセンス管理を他のサーバー機へ変更する場合は以下の手順で行ってください。

例)ライセンスサーバー機を、サーバー1 から サーバー2 に変更する場合の手順を示します。

- ①. サーバー2 にセキュリティサーバーおよびライセンス更新ユーティリティをインストールする。
- ②. サーバー1 からネットワークロック(NWL)をはずして、サーバー2 に装着する。
- ③. サーバー2 のセキュリティサーバーを再起動する。

※ここで再起動するのは、ライセンスサーバー機自体ではなく、セキュリティサーバー（プログラム）です。

- ④. サーバー1 からセキュリティサーバーおよびライセンス更新ユーティリティをアンインストールする。

メモ



すでに、オーソライゼーションコードを申請・登録して運用していた場合は、オーソライゼーションコードの再申請は不要です。ネットワークロック自体に、それまで使用していたadpack-NEO i 製品のライセンス情報が保存されていますので、そのまま使用ができます。

注意



必ず、セキュリティサーバーをインストールした後に、ネットワークロックをパソコンに装着してください。

メモ



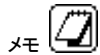
adpack-NEO i を起動する前に、各クライアントマシンから[ネットワークライセンス環境設定ユーティリティ] (NetSetup)を起動して、「検索するサーバーの指定」を変更してください。

5-2-1 セキュリティサーバーのインストール

ここでは、セキュリティサーバーのインストール方法を説明します。



セキュリティサーバーをインストールする前に、ネットワークロックをパソコンに接続しないで下さい。
必ず、セキュリティサーバーをインストールした後に接続してください。



セキュリティサーバーをインストールすると、Sentinel System Driver も同時にインストールされます。

セキュリティサーバーのインストール

adpack-NEO i のインストールCD-ROMをお手元にご用意下さい。

① CD-ROMのセット

CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、セットします。

② SETUP.EXEの実行

◆タスクバー上の[検索]ボックスに[E:¥Net_Server¥Sentinel Protection Installer 7.7.1.exe]と入力し[Enter]とします。

※ E: ドライブは、adpack-NEO i システムCD-ROMが挿入されているCD-ROMドライブです。
実際の環境に合わせて変更してください。



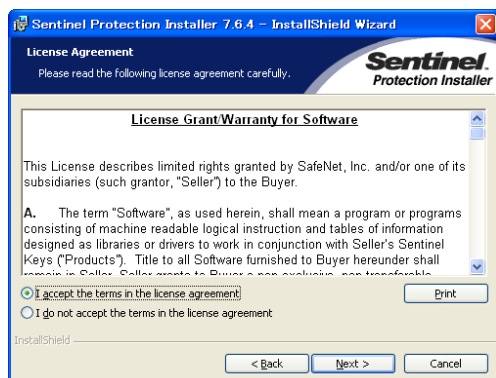
③ セットアップの確認

他のアプリケーションソフトが起動していないことを確認して[Next>] をクリックします。



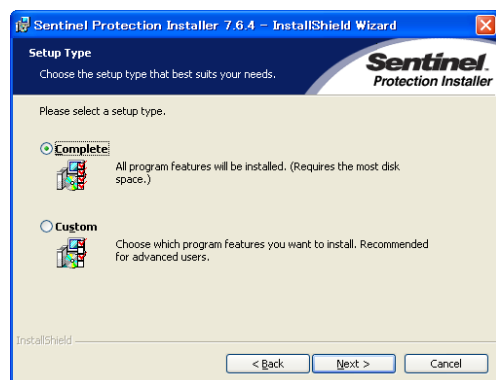
④ 製品ライセンス契約の確認

内容に同意いただいた場合は、[I accept the terms in the license agreement]にチェックをつけて、[Next>] をクリックします。



⑤ セットアップ方法を選択

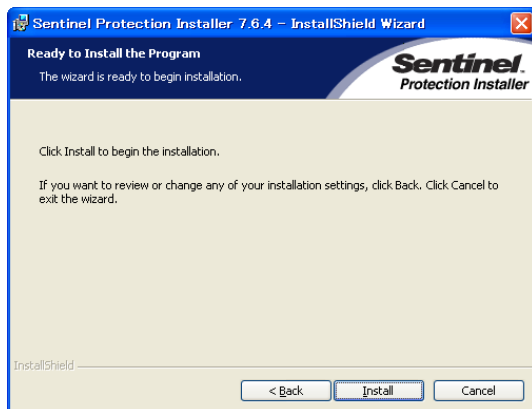
◆ここでは[Complete]にチェックを選択し、[Next>]をクリックします。



[Complete]を選択すると、System Driver、セキュリティサーバー(Sentinel Protection Server)がインストールされます。

⑥ ファイルコピーの開始

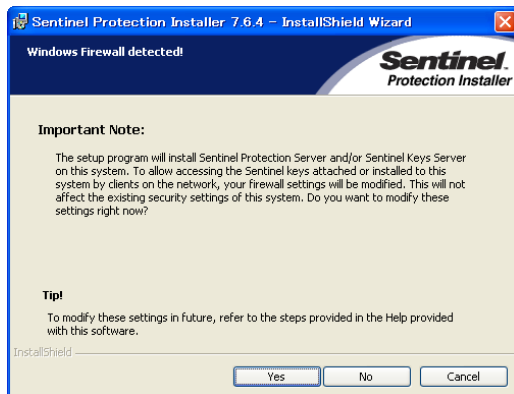
◆[Install]をクリックします。



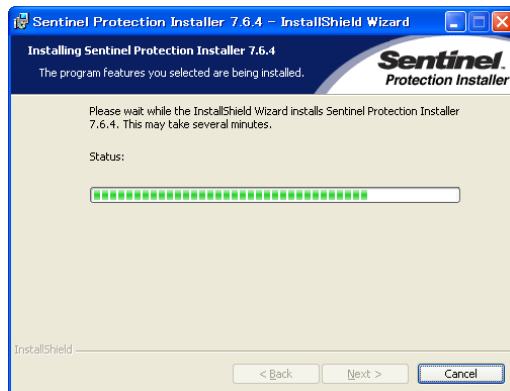
◆ファイアウォールの設定を選択します。

ファイアウォールの設定を自動で行う場合は[Yes]をクリックします。

(※通常はYesにしてください。)

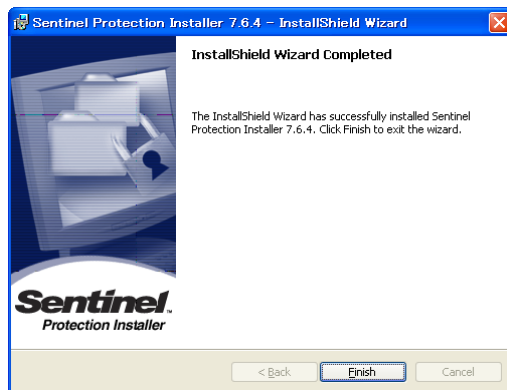


◆その後、インストール処理が行われます。



⑦ 完了

◆[Finish]をクリックして終了します。これでインストールは完了です。

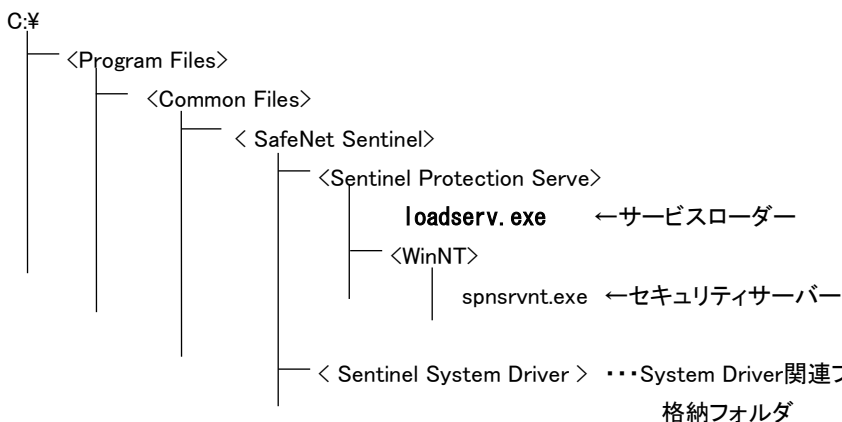


セットアップ完了後、OSの再起動を求められたら、OSの再起動を行ってください。

セキュリティサーバーのインストール位置



インストールが正常に終了すると、以下のディレクトリ内に各OS用のセキュリティサーバープログラムがインストールされます。(OSが C: ドライブにインストールされている場合)



セキュリティサーバーのロードと開始

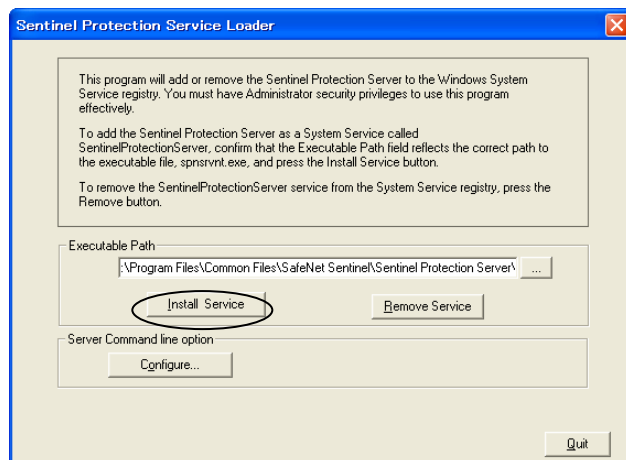


通常は、インストーラーがサービス版サーバーのロードを行いません。

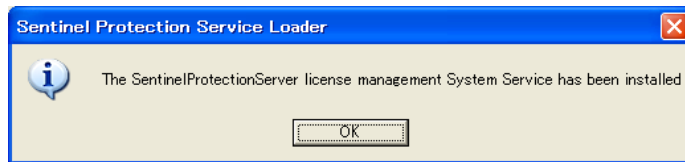
インストールの手順内でロードしなかった場合、もしくは何らかの原因でロードできなかった場合、以下に示す手順でロードを行なってください。

<NTサービス版サーバーのロードと開始の手順>

- ① ネットワークロックをコンピュータに装着します。
- ② 上記インストールフィルダー内の loadserv.exe を直接実行します。
(参照→「セキュリティサーバーのインストール位置」)
- ③ 以下のウィンドウが表示されますので、[Install Service]をクリックします。

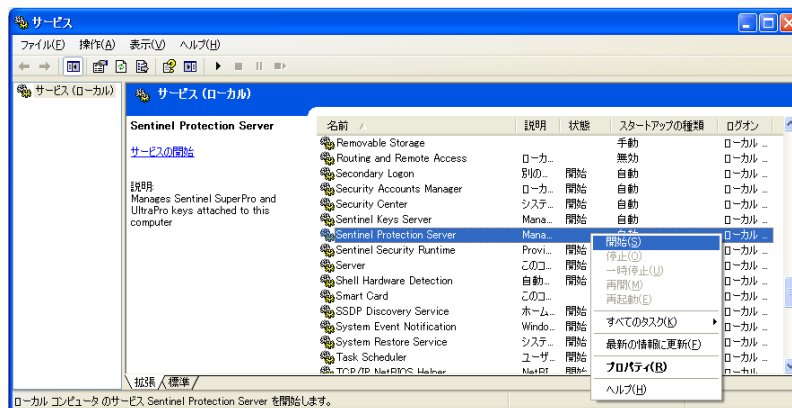


- ④ 正常にサービスがロードされたら、以下のメッセージが表示されます。



通常、サービスのロードと同時にサービスが開始されます。もし、開始されていない場合は以下の手順で開始してください。もしくは、OSを再起動すれば自動的に開始されます。

- ① [スタート]メニューから[Windows 管理ツール]-[サービス]を実行。
- ② その後、表示された「サービス」のダイアログから **Sentinel Protection Server** を選択。
- ③ 右クリックして「停止」後「開始」をクリック、もしくは、「再起動」をクリック。



- ④ サービスが開始したら「サービス」のダイアログを閉じる。

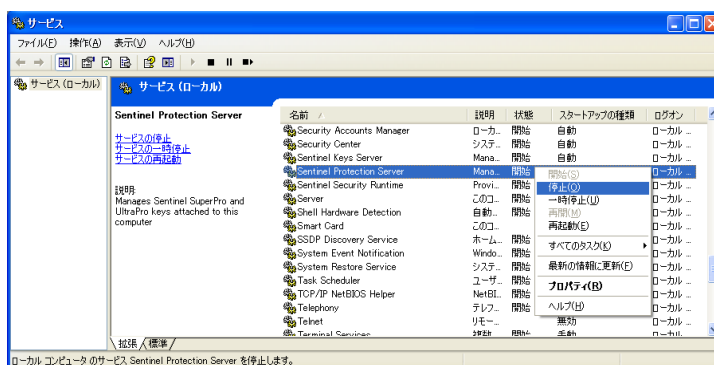
NTサービス版サーバーの停止とアンロード

＜NTサービス版サーバーの停止とアンロードの手順＞



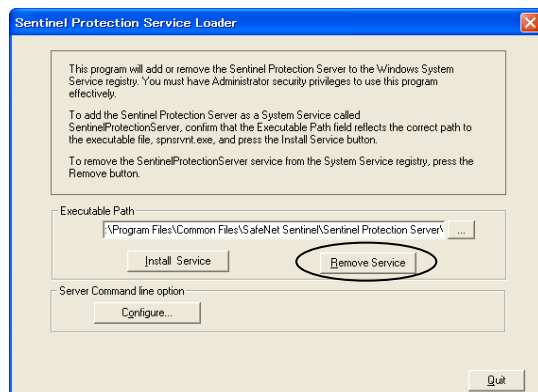
まだ、サービスが実行中の場合、サービスをアンロードする前に停止してください。

- ① [スタート]メニューから[Windows 管理ツール]-[サービス]を実行。
- ② その後、表示された「サービス」のダイアログから **Sentinel Protection Server** を選択。
- ③ 右クリックして「停止」をクリック。

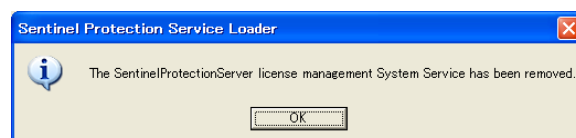


- ④ サービスが停止したら「サービス」のダイアログを閉じる。

- ① インストールフォルダー内のloadserv.exe を直接実行します。
(参照→「セキュリティサーバーのインストール位置」P.5-16)
- ② 以下のウィンドウが表示されますので、[Remove Service]をクリックします。



- ③ 正常にサービスがアンロードされたら、以下のメッセージが表示されます。



5-2-2 ログファイルの設定

ここでは、セキュリティサーバーがライセンス管理をしている履歴をログファイルとして作成する方法を説明します。

ログファイルには、セキュリティサーバー (SentinelSuperProServer) が処理したトランザクションとエラーをログとして取得できます。



セキュリティサーバーインストール時に自動的に設定されません。ログファイルが必要な場合は、以下の手順に従って設定してください。

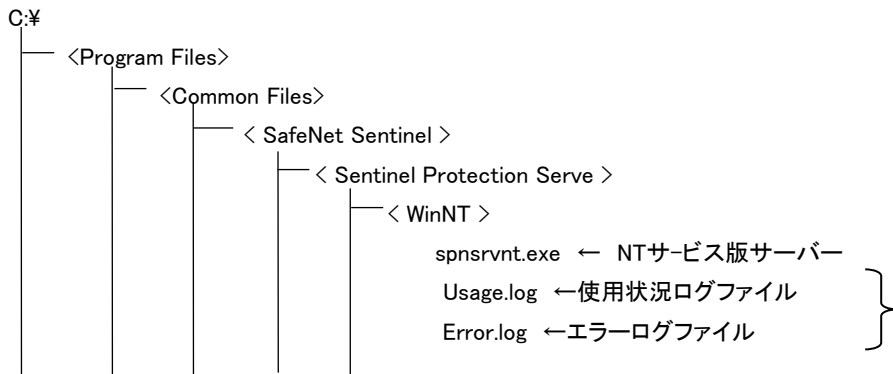
ログファイルの作成位置

ログファイルが作成される位置を説明します。

ログファイルは、下記のように実行するセキュリティサーバープログラムが存在する位置に作成されます。それぞれ以下のとおりです。



(OSが C: ドライブにインストールされている場合)



ログファイルの設定変更

ログファイル名の変更、または、作成位置を変更する場合は以下の手順で行ってください。

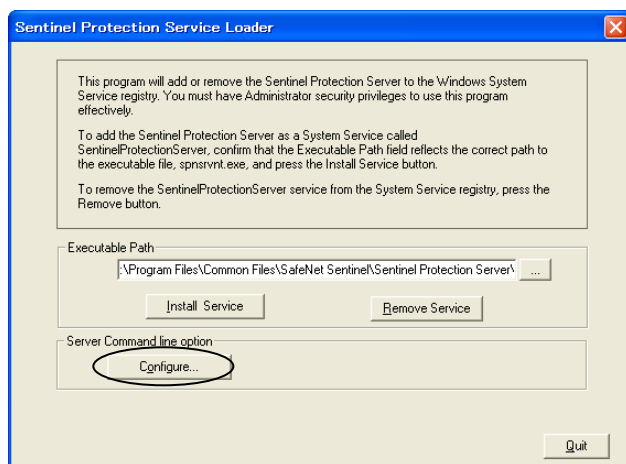


セキュリティサーバーが実行中の場合、予め停止してください。

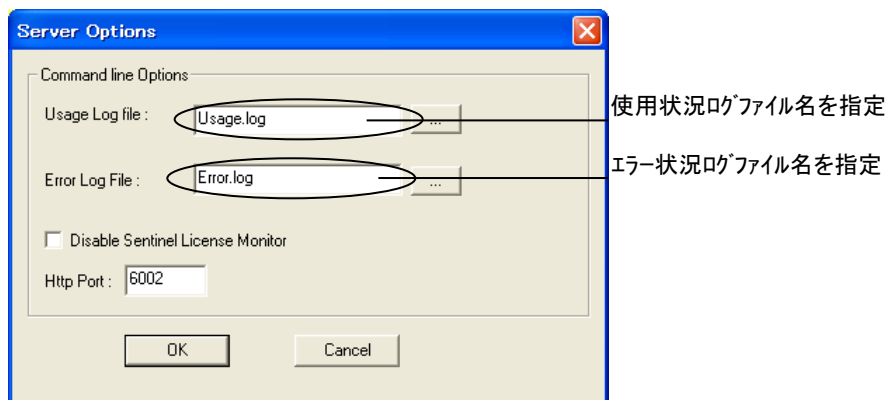
- ① インストールフォルダー内のloadserv.exe を直接実行します。

(参照→「セキュリティサーバーのインストール位置」P.5-16)

- ② 以下のウィンドウが表示されますので、[Configure...]をクリックします。



- ③ 表示されるダイアログボックスに、トランザクションログファイル名（使用状況ログファイル名）、エラーログファイル名を指定します。



ファイル名のみを指定すると、セキュリティサーバープログラムが存在するフォルダと同じ位置に作成されます。フルパスで指定すると、セキュリティサーバープログラムの位置に関係なく指定した位置に作成されます。

◆ログファイル名の指定では必ずファイル名（拡張子含む）まで指定してください。フォルダ名のままではログファイルは作成されません。

◆ファイル名、フォルダ名にスペースが含まれる場合は、その前後をダブルコーテーション “ ” で囲ってください。

例) "Usage log.txt"

例) "C:\Documents and Settings\User1\My Documents\Usage.log"

- ④ セキュリティサーバーを実行（開始）すると、ログファイルが設定されます。

5-3 ライセンス更新ユーティリティのインストール

ネットワークライセンス更新ユーティリティは、ネットワークロックに設定されたライセンスを更新(追加)するために必要なライセンスキーの取得、および、オーソライゼーションコードを入力して、ライセンスを更新するためのクライアントソフトウェアです。

インストール先のパソコンは、必ずしもネットワークに接続されていなくても問題ありません。ただし、DOS/V機(IBM PC/AT互換機)のみになります。

ここでは、ライセンス管理ユーティリティの「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」をインストール方法を説明します。

※adpack-NEO i のダイアログボックスは、「構造図版 adpack-NEO i Ver.1.0」のものを使用しています。



本ユーティリティをインストールする前に、ネットワークロックをパソコンに接続しないで下さい。必ず、本ユーティリティをインストールした後に接続してください。

インストール

① インストールCD-ROMのセット

インストールCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、セットします。

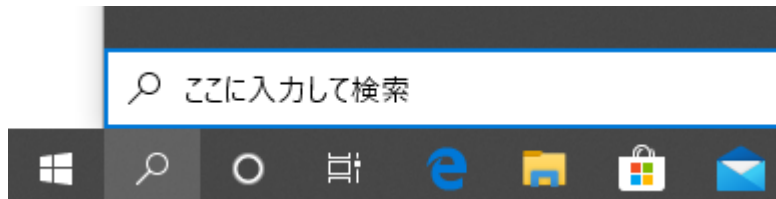


このとき、「Shift」キーを押しながらインストールCD-ROMを挿入すると、自動的にadpack-NEO i のインストールプログラムは起動しません。もし、起動してしまった場合は、終了して下さい。

② SETUP. EXEの実行

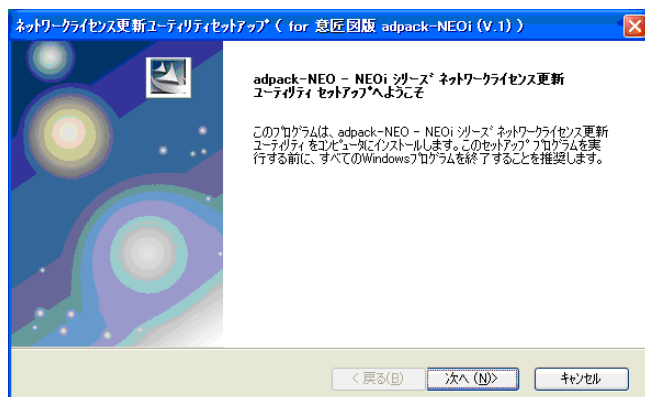
◆タスクバー上の[検索]ボックスに「E:¥Net_Editor¥Setup.exe」と入力し[Enter]とします。

※ E: ドライブは、adpack-NEO i システムCD-ROMが挿入されているCD-ROMドライブです。実際の環境に合わせて変更してください。



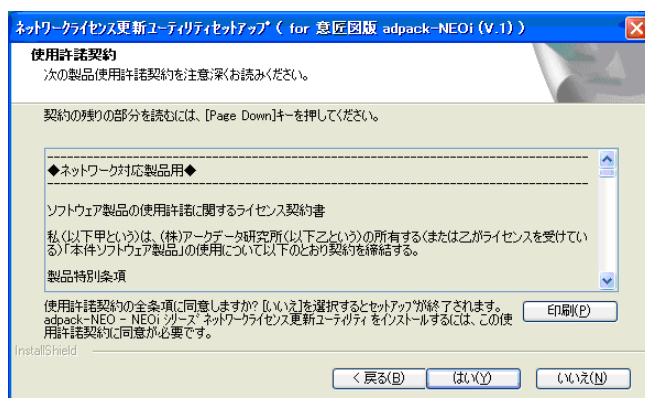
③ セットアップの確認

他のアプリケーションソフトが起動していないことを確認して[次へ(N)>] をクリックします。



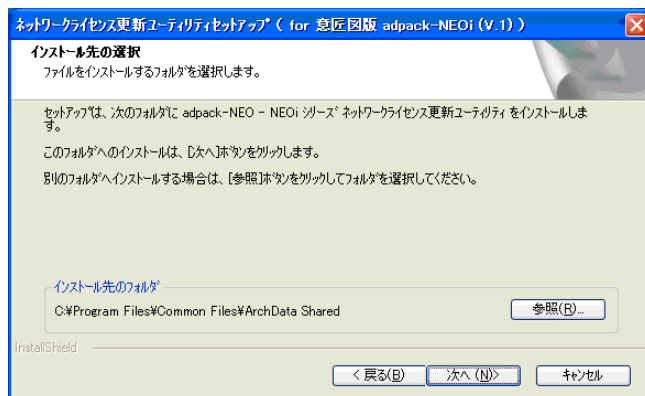
④ 製品ライセンス契約の確認

ライセンス契約に関する説明のウィンドウが開きますので、内容をご確認の上、同意いただいた場合は、[はい(Y)] をクリックします。



⑤ インストールフォルダの指定

インストール先を指示するためのウィンドウが開きますので、インストール先のフォルダを選択します。
OSが C:ドライブにインストールされている場合、デフォルトのインストール先は、
C:¥Program Files¥Common Files¥ArchData Shared となります。



- ◆インストール先を指定したとき、既に、他のadpack-NEO、NEO i シリーズの「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」がインストールされていた場合、以下のメッセージがダイアログ内に表示されます。
[はい]または[いいえ]を選択してください。

「指定したフォルダには、既にライセンス更新ユーティリティがインストールされています。

C:\Program Files\Common Files\KKE Shared

新規にインストールをせず、構造図版 adpack-NEO i 2023 (Ver.8.0) の設定を追加します。

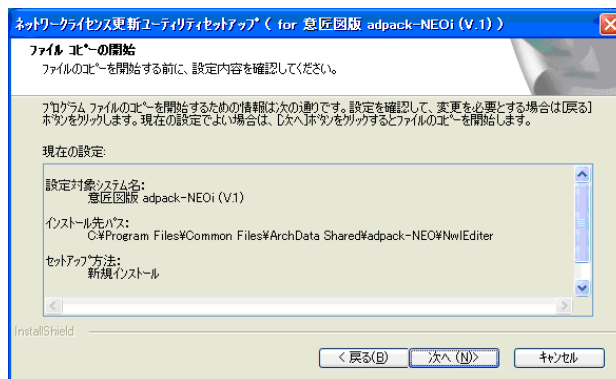
よろしいですか？」

[はい] を選択した場合、既にインストールされている「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」にこれからインストールするadpack-NEO i の管理情報を追加します。これにより、同一の「ネットワークライセンス更新ユーティリティ」で複数のシステムのライセンスが更新できるようになります。

[いいえ] を選択した場合、再度「⑥ インストールフォルダの指定」のダイアログが表示されますので、別のフォルダを指定してください。上書きインストールは出来ません。

⑥ ファイルコピーの開始

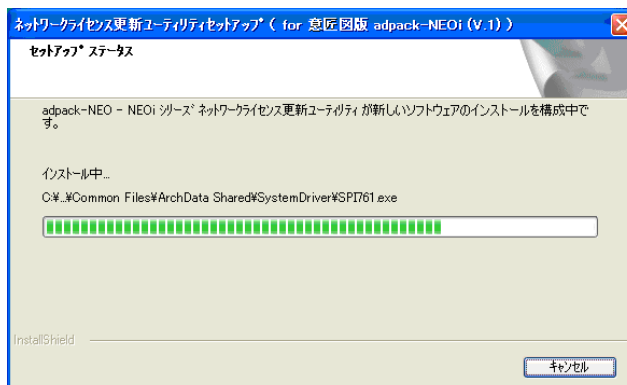
- ◆新規インストールの場合：インストール条件を確認後 [次へ(N)>] ボタンをクリックします。



- ◆追加インストールの場合：インストール条件を確認後 [次へ(N)>] ボタンをクリックします。

⑦ ファイルのコピー

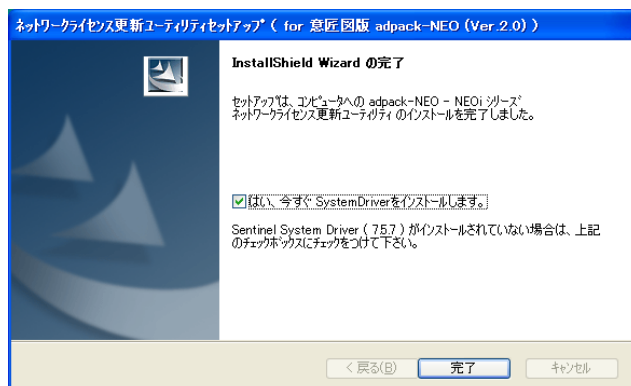
- ◆新規インストールの場合：プログラムファイルがハードディスクにコピーされます。



- ◆追加インストールの場合：設定の更新のみを行います。

⑧ セットアップの完了

ファイルコピー終了後、以下のメッセージが表示されます。[完了]をクリックしセットアップを終了します。



◆上記で「はい、今すぐ SystemDriverをインストールします」にチェックをつけると、以下のメッセージが表示され、続けて、SystemDriverのインストーラが新たに起動してきます。



◆指示に従ってSystemDriverのインストールを継続して下さい。



Sentinel System Driver (SSD-7.6.1)は、必ず一度はインストールして下さい。
一度インストールしたことがある場合は、複数回インストールする必要はありません。
使用している System Driver のバージョンが SSD-7.6.1より古い場合も、インストールして下さい。
Sentinel System Driver は、adpack-NEO i で使用しているハードウェアロックを認識する為に必要なデバイスドライバーです。

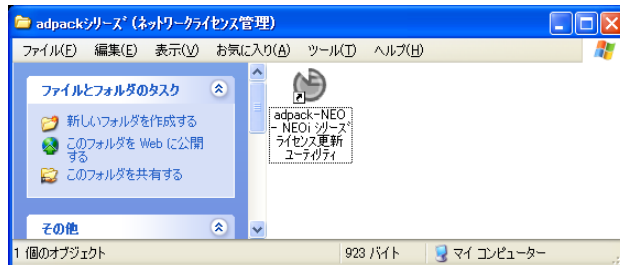


ライセンス更新ユーティリティをインストールしたパソコンに、既にセキュリティサーバーがインストールされている場合は、ここで System Driver のインストールを行う必要はありません。

インストール後



インストールが正常に終了すると、起動用のショートカットが作成されます。



インストール位置



インストールが正常に終了すると、以下のディレクトリ内に各ネットワークライセンス更新ユーティリティがインストールされます。

(OSが C: ドライブにインストールされている場合)

```

C:\
├── <Program Files>
│   ├── <Common Files>
│   │   ├── <Archdata Shared>
│   │   │   └── <adpack-NEO i>
│   │   │       └── <NwlEditor>
│   │   │           └── NwlEditor.exe ←ライセンス更新ユーティリティ

```



ネットワークライセンス更新ユーティリティの使用方法については、「Section4 ネットワーク環境でのライセンス管理」を参照してください。

Section 6 本システムの起動及びライセンス確認から終了まで

本システムの起動及びライセンス確認から終了までの手順について、以下の項目に分けて説明します。

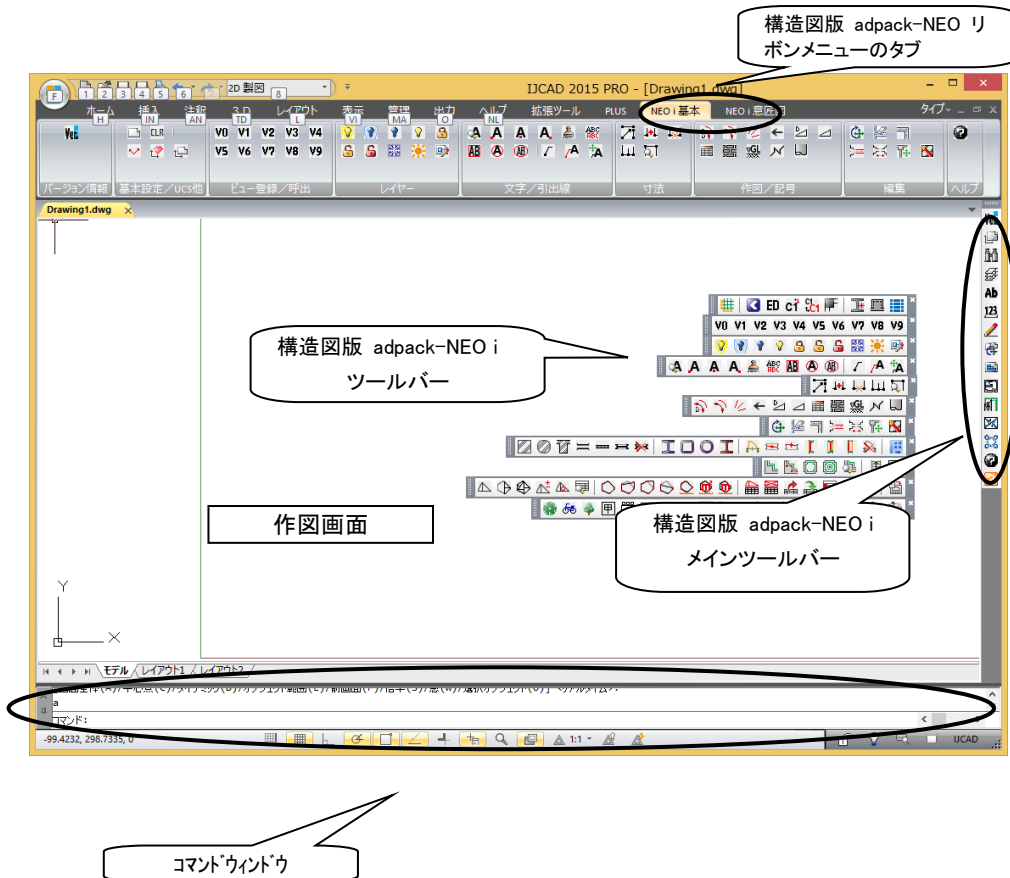
◆システムの起動及びライセンス確認から図面の作図開始まで

本システムの起動及びライセンス確認から、作図開始までの手順について説明します。

◆システムの終了

本システムの終了方法について説明します。

起動後の画面構成



6－1 起動及びライセンス確認から図面の作図開始まで

本システムの起動及びライセンス確認から、作図開始までの手順について説明します。

基本的に、新規図面や本システムで作成していない図面に対しては「用紙設定」を行ってください。それによって作業の効率が良くなります。

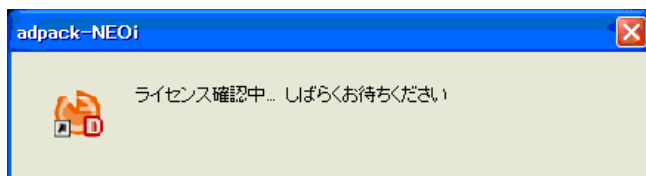
- 本システムをこれから起動する場合
- 既に起動した状態から、新規図面を作成する場合

本システムをこれから起動する場合

- ① デスクトップ上の「構造図版 adpack-NEO i Ver.8.0」のショートカットをダブルクリックするか、もしくは、タスクバーの[スタート]メニューから[adpack-NEO i Ver.8.0 構造図版]－[構造図版 adpack-NEO i Ver.8.0]のショートカットを選択します。



- ② その後、adpack-NEO i のライセンス管理を行います。以下のウィンドウが画面左上に表示されます。その後、ライセンスの取得有無、試用期間の有無によって、メッセージが変わります



ネットワーク上のライセンスサーバーが検索できて、ライセンスサーバーから正常にライセンスが取得できた場合は、「構造図版 adpack-NEO i」が起動します。

- ③ adpack-NEO i が起動して、adpack-NEO i のメインツールバーやリボンメニューの[NEO 基本][NEO 構造図]リボンタブが表示されます。
- ④ 続けて図面の作図を開始する場合は「用紙設定」を行います。
- ⑤ メニュー[基本設定／UCS他]－[用紙設定／設定変更]を選択します。



基本的な操作の流れとして、新規図面の作成を開始する前に「用紙設定」を行って下さい。

- ⑥ 以下のダイアログボックスが表示されますので、用紙設定の内容(用紙サイズ、縮尺、レイヤ設定、用紙枠等)を設定し、【OK】ボタンをクリックします。

用紙設定

用紙サイズ
☐ A1 ☒ A2 ☐ A3 ☐ A4 ☐ B4
☐ 任意 横 594 mm × 縦 420 mm

縮尺
 1/100 縮尺 1 / 100

レイヤ設定
☒ adpack デフォルト
☐ csvファイル指定
☐ 行わない(テンプレート使用)

用紙枠
☒ PLINE ☐ 枠なし
☐ dwgファイル指定

寸法線設定
 寸法スタイル adNEO1

OK キャンセル

- ⑦ その後、⑥で設定した内容に合わせて、最終的な設定が行われます。

- ⑧ 図面の作図を開始します。

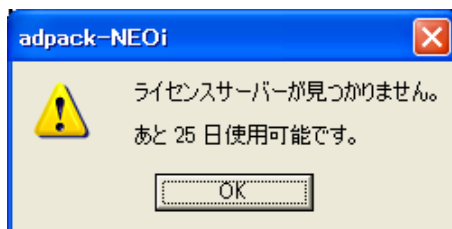
メモ



設定内容については、オンラインヘルプ〈基本ヘルプ〉の[用紙設定／設定変更]を参照して下さい。

adpack-NEO i のライセンス確認の結果の違い

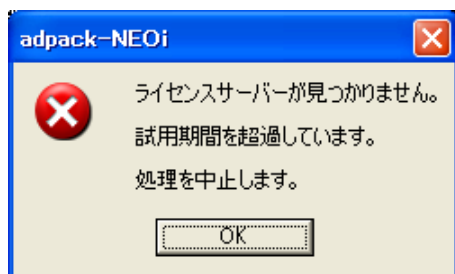
- ◆6-2P ②で、ライセンスサーバーが見つからない(試用期間あり)場合は、以下のメッセージが表示されます。



⇒ 試用期間がある場合は、OKボタンをクリックするとシステムが起動します。

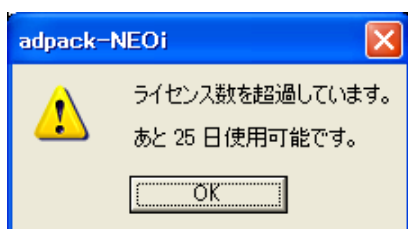
ライセンスサーバーが正常に起動しているか確認して下さい。

- ◆6-2P ②で、ライセンスサーバーが見つからない(試用期間なし)場合は、以下のメッセージが表示されます。



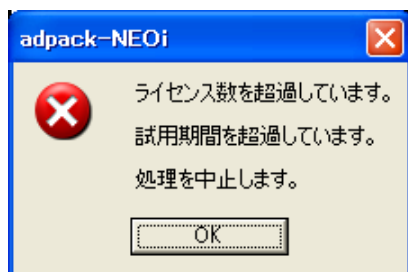
- ⇒ システムは起動できません。OKボタンをクリックすると終了します。
ライセンスサーバーが正常に起動しているか確認して下さい。

- ◆6-2P ②で、ライセンスサーバーは見つかったがライセンスの空きがない(試用期間あり)場合は、以下のメッセージが表示されます。



- ⇒ 試用期間がある場合は、OKボタンをクリックするとシステムが起動します。
このようなことが多い場合、adpack-NEO i のライセンス追加を検討して下さい。

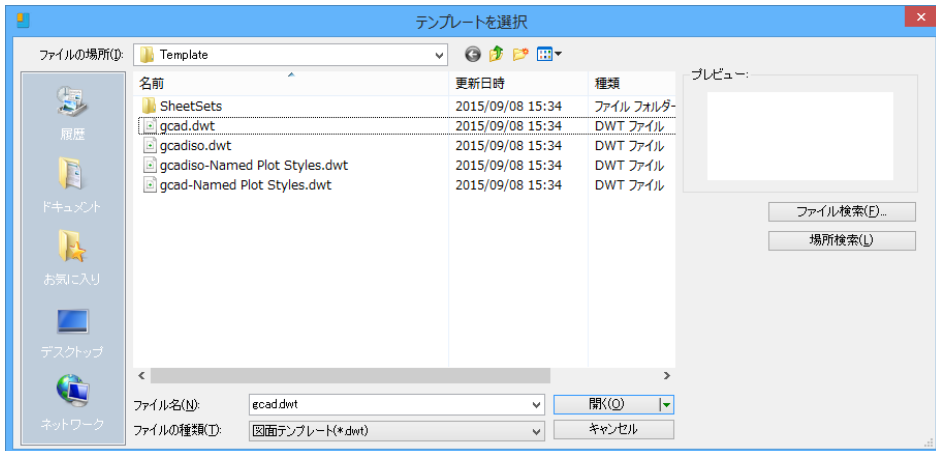
- ◆6-2P ②で、ライセンスサーバーは見つかったがライセンスの空きがない(試用期間なしの場合は、以下のメッセージが表示されます。



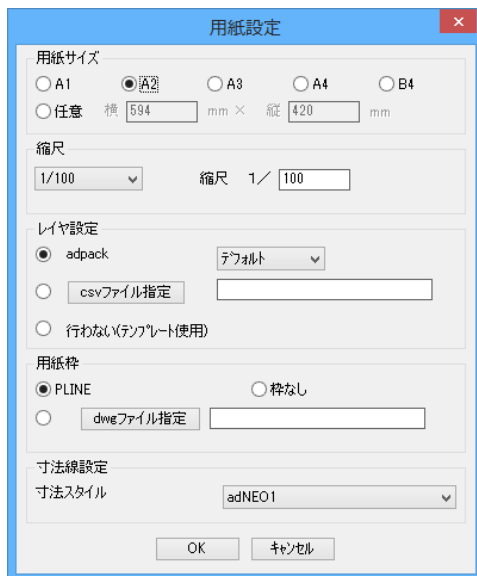
- ⇒ システムは起動できません。OKボタンをクリックすると終了します。
このようなことが多い場合、adpack-NEO i のライセンス追加を検討して下さい。

既に起動した状態から新規図面を作成する場合

- ① IJCADのメニューから[新規作成]を選択して新規図面を作成します。
- ② 「テンプレートを選択」が表示されますので、「gcadiso.dwt」が選択されていることを確認して、【開く】ボタンをクリックします。



- ③ 新規図面が開きますので、続けて図面の作図をする場合は「用紙設定」を行います。
- ④ メニュー[基本設定／UCS他]→[用紙設定／設定変更]を選択します。
- ⑤ 以下のダイアログボックスが表示されますので、用紙設定の内容(用紙サイズ、縮尺、レイヤ設定、用紙枠等)を設定し、【OK】ボタンをクリックします。



- ⑥ その後、⑤で設定した内容に合わせて、最終的な設定が行われます。
- ⑦ 図面の作図を開始します。

6－2 システムの終了

本システムを終了する手順について説明します。（IJCADの終了と同様の手順です。）

- ① IJCADのメニューから[終了]、もしくは、本システムのウィンドウ右上の[×]をクリックします。
- ② 編集中の図面がまだ保存されていない場合は、以下のメッセージが表示されます。



保存時のファイル名は、そのつど異なります。

- ③ 保存しない場合は【いいえ】をクリックします。
- ④ その後、IJCADと本システムが終了します。

Section7 アンインストールについて

本システムには、専用のアンインストールプログラムが用意されており、Windows上で簡単にアンインストールがおこなえるようになっています。

インストールフォルダの内容をそのまま削除しても、正常なアンインストールはできませんので、必ずこの専用プログラムを用いて、適切なアンインストール作業を行うようにして下さい。

アンインストールを実行する前に

1. 本システムが起動していないことを確かめてから行ってください。
2. アンインストール実行中は、常駐アプリケーションを含む、他のアプリケーションは全て終了しておいてください。

7-1 adpack-NEO i のアンインストール

ここでは、本システムをアンインストールする方法を説明します。

① アンインストーラの起動

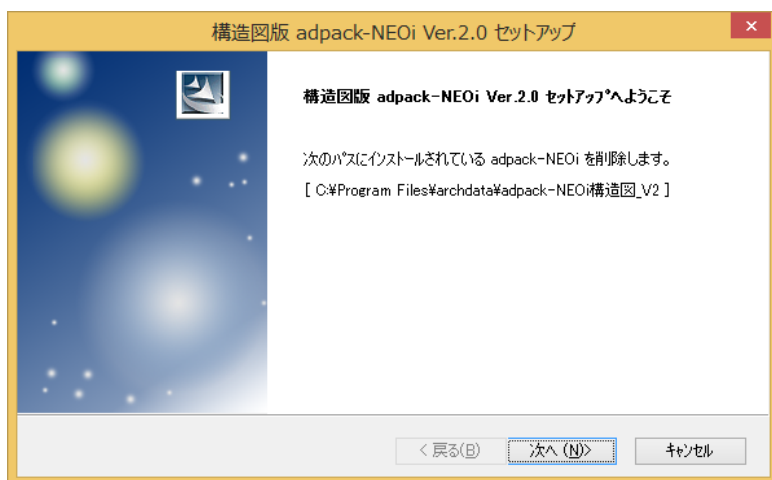
- ◆タスクバー上の[スタート]ボタンから、[設定]を選択します。
- ◆Windowsの設定内の「アプリ」をクリックします。
- ◆「アプリと機能」内のアプリケーションリストから「構造図版 adpack-NEO i Ver.8.0」を選択し、「アンインストール」をクリックします。



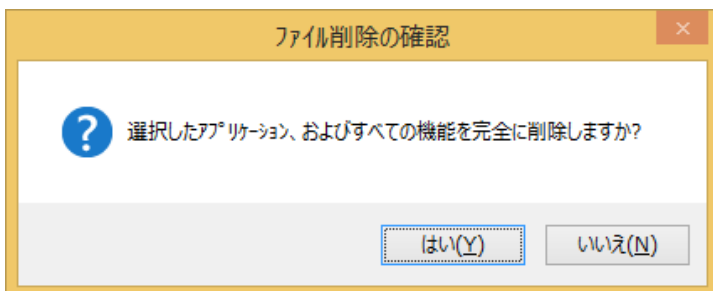
既に本製品がインストールされている場合、インストールCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入することでアンインストーラーが起動します。(インストールCD-ROMのオートラン機能により起動してきます。)

② 確認のメッセージ表示

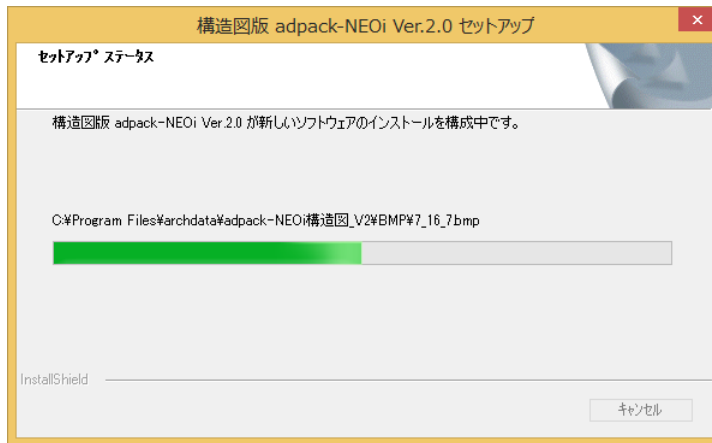
- ◆【次へ(N)】をクリックします。



- ◆以下の確認のメッセージが表示されますので【はい(Y)】をクリックします。

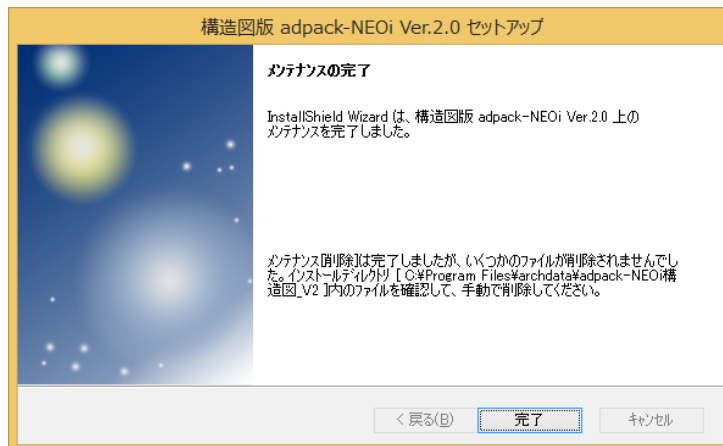


◆その後、アンインストールが開始されます。



③ 完了

◆以下の確認のメッセージが表示されますので【完了】をクリックします。



④ プログラム削除の確認

◆「アプリと機能」内のアプリケーションリストから「構造図版 adpack-NEO i Ver.8.0」が削除されていることを確認し、[閉じる(C)]をクリックして終了します。



アンインストールが正常に終了すると、インストール時に作成された[スタート]内に作成されたプログラムフォルダも削除されます。



アンインストール後、プログラムがインストールされているフォルダが残ってしまう場合があります。これは、インストールした後に作成されたファイルは、アンインストーラで削除されないためです。インストールフォルダが残っている場合は、必要に応じて、そのフォルダ内のファイルをバックアップ後、手動で削除して下さい。

7-2 セキュリティサーバーのアンインストール

ここでは、セキュリティサーバー（プログラム）のアンインストール方法を説明します。
以下の手順でアンインストールします。

注意



セキュリティサーバーが実行している場合は、アンインストールを行う前に終了して下さい。

① アンインストーラの起動

- ◆タスクバー上の[スタート]ボタンから[設定]を選択します。
- ◆Windowsの設定内の「アプリ」をクリックします。
- ◆「アプリと機能」内のアプリケーションリストから「Sentinel Protection Installer 7.7.1」を選択し「アンインストール」をクリックします。

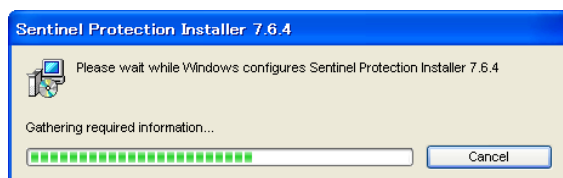
② 確認のメッセージ表示

- ◆以下の確認のメッセージが表示されますので[はい(Y)]をクリックします。



③ セキュリティサーバーの削除

- ◆その後、削除が行われます。



④ 完了

- ◆アンインストールは完了です。

メモ



このとき、OSの再起動を促すメッセージが表示された場合は、OSの再起動を行って下さい。
※以下のダイアログが表示した場合は、「Yes」を選択します。



7-3 ライセンス更新ユーティリティのアンインストール

ここでは、インストールされたライセンス管理ユーティリティ(ネットワークライセンス更新ユーティリティ)のアンインストール方法を説明します。

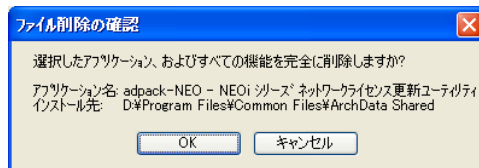
ネットワークライセンス更新ユーティリティは以下の手順でアンインストールします。

① メンテナンスセットアップの起動

- ◆タスクバー上の[スタート]ボタンから[設定]を選択します。
- ◆Windowsの設定内の「アプリ」をクリックします。
- ◆「アプリと機能」内のアプリケーションリストから「adpack-NEO-NEO i シリーズ ネットワークライセンス更新ユーティリティ」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

② 確認のメッセージ表示

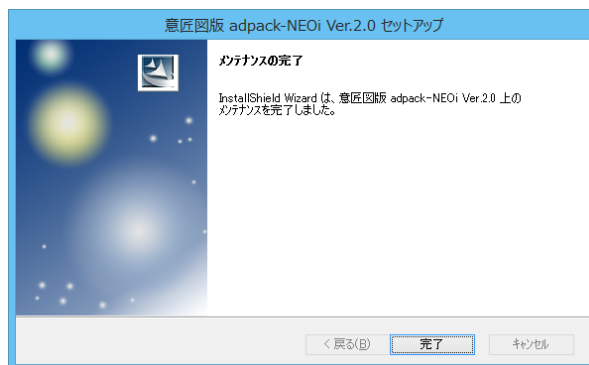
- ◆以下の確認のメッセージが表示されますので「OK」をクリックします。



- ◆その後、ファイルの削除を行います。

③ 完了

- ◆以下の確認のメッセージが表示されますので「完了」をクリックします。



インストールガイド（ネットワーク版）＜構造図版 adpack-NE0 i 2023 Ver. 8.0＞ 第1版 2023年9月



制作・著作 株式会社アーキデータ研究所

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-37-14

TEL : 03-5901-9452 FAX : 03-5901-9451

無断転載禁止

